

第6章 和雑誌書誌レコード

この章では、和雑誌として取り扱うべき書誌レコードについて、新規入力におけるデータ記入の方法を示す。

流用入力及び修正におけるデータ記入の方法のうち、それぞれの章で特に規定していない事項については、この章の規定に従ってデータ記入を行う。

この章で特に規定していない事項については、第2章の規定に従ってデータ記入を行う。

[目録規則との対応関係]

この章のそれぞれの項目において準拠すべき「日本目録規則1987年版改訂3版 第13章継続資料」（以下NCR87R3という）の条項番号を以下に示す。

「-」は、準拠すべき条項が存在しないことを示す。

丸がっこ内の番号は、参照すべきであるが準拠するわけではないことを示す。

なお、準拠するべき条項であっても「目録情報の基準」と相違する事項に関しては、「目録情報の基準」に従う。

6.0	通則	
6.0.1	タイトル変遷	13.0.2.1, 13.1.1.3
6.0.2	複製資料	-
6.0.3	総称的タイトル	-
		-
6.1	ID&コードブロック	-
6.1.1	ID	-
6.1.2	MARC	-
6.1.3	GMD	(1.1.2, 13.1.2)
6.1.4	SMD	(1.1.2, 13.1.2)
6.1.5	YEAR	-
6.1.6	CNTRY	-
6.1.7	TTLL	-
6.1.8	TXTL	-
6.1.9	ORGL	-
6.1.10	REPRO	-
6.1.11	PSTAT	-
6.1.12	FREQ	(13.7.3.0)
6.1.13	REGL	-
6.1.14	TYPE	-
6.1.15	ISSN	(1.8.1, 13.8.1)
6.1.16	XISSN	(1.8.1, 13.8.1)
6.1.17	NLDPN	-
6.1.18	CODEN	-
6.1.19	ULPN	-

6.2	記述ブロック	
6.2.1	TR	1.1, 13.1, 22
6.2.2	ED	1.2, 13.2
6.2.3	VLYR	1.3, 13.3
6.2.4	PUB	1.4, 13.4
6.2.5	PHYS	1.5, 13.5, 各章の.5
6.2.6	VT	(1.7, 1.8.2, 13.7, 13.8.2), 22, 26
6.2.7	NOTE	1.7, 13.7
6.2.8	PRICE	1.8.3, 13.8.3
6.3	変遷ブロック	
6.3.1	FID	—
6.3.2	BHNT	(13.7.3.2)
6.4	リンクブロック	
6.4.1	PTBL	—
6.4.2	AL	23
6.4.3	UT	—
6.5	主題ブロック	
6.5.1	CLS	25
6.5.2	SH	24

6.0 通則

この章では、和雑誌書誌レコード全体に共通する事項を示す。

6.0A [適用範囲]

この章で規定する事項は、和雑誌書誌レコードに対して適用する。

6.0B [レコードの構成]

書誌レコードは、以下の5つのブロックによって構成される。

- (1) ID&コードブロック
- (2) 記述ブロック
- (3) 変遷ブロック
- (4) リンクブロック
- (5) 主題ブロック

(例) <AN10005857>

- | | | |
|-----|---|---|
| (1) | { | CRTDT:19880120 RNWDT:19981209 |
| | | YEAR:1987 CNTRY:ja TTL:jp TXL:jp |
| | | FREQ:m REGL:r TYPE:p |
| | | ISSN:09133801 XISSN:00125180 NDLPN:00052975 |
| (2) | { | TR:情報の科学と技術 = The Journal of Information Science and Technology Association /
情報科学技術協会 ジョウホウ ノ カガク ト ギジュツ |
| | | VLYR:Vol. 37, no. 1 (1987. 1) - |
| | | PUB:東京 : 情報科学技術協会 , 1987- |
| (3) | { | FID:00183500 |
| | | BHNT:CF:ドクメンテーション研究 / 日本ドクメンテーション協会 <AN00172819> |
| (4) | | AL:情報科学技術協会 ジョウホウ カガク ギジュツ キョウカイ <DA00641719> |
| (5) | | SH:NDLSH:情報科学 ジョウホウカガク//K |

各ブロックは、複数のフィールドによって構成される。

個々のフィールドのうち幾つかは、複数のデータ要素によって構成される。

各データ要素は、別項に規定する区切り記号法と、規定の順序に従って記録しなければならない。

データ要素の記録方法については、6.1以下で、書誌レコードの構成順序に従い、各フィールド毎に説明する。

6.0C [各項の見出しの構成]

各フィールド中では、次のような見出し順序に従い、必要な情報を示す。

(1) A [形式]

各フィールドのデータ要素名と各データ要素毎の入力レベル、属性、フィールド長、繰り返し数などを示す。

(2) B [記述文法]

各フィールドのデータ要素の順序と区切り記号法を示す。

(3) C [NCR87R3 の区切り記号法の採否]

各フィールドのデータ要素の区切り記号法について、NCR87R3 の規定の採否を示す。

(4) D [フィールド内容とデータ要素]

各フィールドのデータ要素となる事項の解説を行う。

(5) E [データ要素の情報源]

各フィールドのデータ要素の情報源を示す。

(6) F [データ記入及び記入例]

各フィールドの記録方法を、必要に応じてデータ要素毎に解説し、併せて記入例を示す。

(7) G [フィールドの繰り返し]

幾つかのフィールドについては、同じフィールドを複数回繰り返すことができる。繰り返し可能な場合は、ここでその内容や条件を示す。

(8) H (選択事項)

フィールドに記録される事項の中には、各参加組織が自由に選択することができるものがある。選択可能な事項がある場合は、ここでその内容や条件を示す。

(9) I 《注意事項》

各フィールドの記録に際して、目録作成者が注意しなければならない事項を示す。また、F [データ記入及び記入例] で示した方法が、システム上の制限などにより例外的な措置を取る場合について、その内容や条件を示す。

(10) J [関連項目]

各フィールドで、そのフィールドに関わるその他のフィールドを示す。

必要に応じ、見出しを追加、変更、省略することがある。

6.0D [情報源]**6.0D1 (記述の基準号)**

(初号主義)

データの記述を行う上の基準号として優先的に採用されるのは、初号である。初号が入手できない場合は、入手できるものの最初の号 (所蔵最古号) に基づいてデータ記入を行う。(→ NCR87R3 13.0.3.0)

初号以外の号で記述を行った場合、記述の基準とした号について NOTE フィールドに記録する必要がある。

(基準とする号の修正)

情報源としての優先度は、初号に近い号ほど高くなる。従って、既存の書誌データが記述の基準とした号よりも初号に近い号を入手した場合は、その号に基づいて書誌データの書き換えを行うことになる。

6.0D2 (記述の情報源)

記述の情報源は、NCR87R3 13.0.3.1 に準拠する。

6.0D3 (規定の情報源)

各データ要素の規定の情報源は、NCR87R3 の 13.0.3.2 に準拠する。

6.0D4 (仮登録雑誌の取り扱い)

書誌データの入力は、現物の情報源に拠って行うことが原則であるが、新規の予約雑誌にかぎり、以下のような運用により簡略なデータを仮登録することを可能とする。(NACSIS 独自規定)

- (1) 書店カタログなどに基づき、簡略なデータを記録できるものとする。
- (2) このとき、そのレコードが仮登録雑誌(予約雑誌)であることを、必ず NOTE フィールドに記録する。
(→ 6.2.7F3.2)

NOTE: 仮登録雑誌

- (3) 仮登録雑誌の書誌レコードは、現物を入手した時点で修正し、正式登録の状態とする。
- (4) 仮登録雑誌の所蔵レコードの年次フィールド HLYR と巻次 HLV フィールド両方に、仮登録であることを示すアスタリスク (*) を入力する。

6.0E [データ記入]

データ記入にあたっての、区切り記号法、誤記、誤植、脱字などの扱いについては、第2章 和図書書誌レコード 2.0D [データ記入]の規定に従う。

(裏白)

6.0.1 タイトル変遷

逐次刊行物については、継続的に刊行される一連の刊行物全体を「逐次刊行物書誌単位」として、一つの書誌的記録（書誌レコード）を作成する。この書誌的記録は、刊行途中の本タイトルの変更等により、新たな書誌的記録を発生する場合がある。これを「タイトル変遷」という。

6.0.1A [タイトル変遷の判断基準]

以下の指針に従って、タイトル変遷かどうかを判断する。タイトル変遷と判断できる場合は、新規書誌レコードを作成する。この方式を「個別タイトル記入方式」という。

A1 (本タイトルの変化)

本タイトルの変化に関しては、日本目録規則 1987 年版改訂 3 版 第 13 章継続資料（以下 NCR87R3 とする）に準拠する。本タイトルの変化には重要な変化と軽微な変化があり、軽微な変化に該当しない重要な変化の場合にタイトル変遷と判断する。

判断に迷う場合は、軽微な変化とする。ただし、出版者によるタイトルの変更の意思を示す証拠がない場合に限る。各条項番号およびその採否については、以下のとおり。

A1.1 重要な変化

(1) 主要な語の変化

NCR87R3 の 13.1.1.3A ア) に従い、主要な語を他の語に変えたり、追加または削除した場合は、重要な変化とみなす。

相談学研究 → カウンセリング研究

(2) 語順の変化

NCR87R3 の 13.1.1.3A イ) に従い、語順に変化が生じた場合は、重要な変化とみなす。

(3) イニシアルまたは頭字語の変化

NCR87R3 の 13.1.1.3A オ) に従い、イニシアルまたは頭字語が変わった場合は、重要な変化とみなす。

(4) 言語の変化

NCR87R3 の 13.1.1.3A カ) に従い、言語が変わった場合は、重要な変化とみなす。

(5) 本タイトルに含まれる団体名の変化

NCR87R3 の 13.1.1.3A キ) に従い、本タイトルに含まれる団体名が変わった場合は、重要な変化とみなす。

電子通信学会誌 → 電子情報通信学会誌

(6) 逐次刊行物全体の順序づけを表す表示の変化

年代順のシリーズ表示等、逐次刊行物全体の順序づけを表す表示の変化・追加が巻次変更に伴って生じた場合は、重要な変化とみなす。(NACSIS 独自規定) (⇒6.2.1F2.8., 6.2.1F2.9)

西洋史研究 → 西洋史研究. 新輯

A1.2 軽微な変化

(1) 助詞等の変化

NCR87R3 の 13.1.1.3B ア) に従い、助詞、接続詞、接尾語が他の語に変化したり、追加または削除された場合は、軽微な変化とみなす。

中国土地改良 → 中国の土地改良

(2) 記号の変化

NCR87R3 の 13.1.1.3B イ) に従い、重要な意味を持たない記号が変化したり、追加または削除された場合は、軽微な変化とみなす。

飛鳥藤原宮発掘調査出土木簡概報 → 飛鳥・藤原宮発掘調査出土木簡概報

(3) 逐次刊行物の種別を示す語の変化

NCR87R3 の 13.1.1.3B ウ) に従い、逐次刊行物の種別を示す語が類似の語に変化したり、追加または削除された場合は、軽微な変化とみなす。

(4) 語順の変化

NCR87R3 の 13.1.1.3B キ) に従い、語順の変化、語の追加または削除が主題の変化につながる場合は、軽微な変化とみなす。ただし、語順の変化、語の追加または削除は、名称が列記されている部分における変化の場合のみ軽微な変化とみなす。(NACSIS 独自規定)

(5) イニシアルまたは頭字語と完全形の変化

NCR87R3 の 13.1.1.3B ク) に従い、イニシアルまたは頭字語が完全形に変わったり、逆に完全形がイニシアルまたは頭字語に変わった場合は、軽微な変化とみなす。

(6) 顕著に表示されているタイトルの交替

主情報源上のレイアウトの変更等に伴い、より顕著に表示されているタイトルが交替した場合、従来からの本タイトルが主情報源上に表示されているかぎり、軽微な変化とみなす。

NCR87R3 の 13.1.1.3B ケ) では適用を本タイトル/並列タイトルの交替にかぎっているが、顕著に表示されているタイトルの交替全般に適用する。(NACSIS 独自規定)

(7) 文字種の変化

NCR87R3 の 13.1.1.3B コ) に従い、言語は変化せずに、文字種の変化があった場合は、軽微な変化とみなす。

NTT ファシリティーズジャーナル → NTT ファシリティーズ journal

KAST ニュースレター → KAST news letter

韓国 中小企業

(8) 本タイトルに含まれる団体名の表記の変化

NCR87R3 の 13.1.1.3B サ) に従い、本タイトルに含まれる団体名の表記に微細な変化、追加または削除があったり、他の語との関連が変化した場合は、軽微な変化とみなす。ただし、微細な変化、追加または削除であっても、団体名称の変更に伴うものである場合は、軽微な変化とみなさない。(NACSIS 独自規定)

沖縄生物教育研究会誌 → 沖生教研会誌

(9) 主要でない語の変化

その他、タイトルの意味内容や主題に変化を及ぼさない主要でない語が変化、追加または削除された場合は、軽微な変化とみなす。

県民所得推計結果報告書 → 県民所得推計報告書

上記、重要な変化としないものおよび軽微な変化となるものは、VT フィールドに OH として記録し、NOTE フィールドに巻次・年月次とともに記録する。アクセス上必要がないものは NOTE フィールドのみに記録してもよい。(⇒6.2.6F7.1, 6.2.7F3.6)

ただし、上記 A1.2 の軽微な変化の規定に関して、書誌の同定・運用上特に必要と認められる場合には、タイトル変遷とみなすこととする (NACSIS 独自規定)。

A2 (責任表示の変化)

刊行途中に責任表示に変化・追加・削除があった場合は、タイトル変遷とみなさず、新規レコードは作成しない。

それらはNOTE フィールドに記録し、AL フィールドまたは該当著者名典拠レコードのSAF フィールドに記録する。(⇒ 6.2.1.F5.3, 6.2.7F3.11)

ただし、NCR87R3 の 13.1.5.3 に従い、本タイトルが総称的で、その責任表示の表記に微細な変化、追加または削除以外の変化があった場合は、タイトル変遷とみなす。(⇒ 6.2.1.F5.5, 6.0.3)

A3 (並列タイトルの変化)

NCR87R3 の 13.1.3.3 に従い、刊行途中に並列タイトルに変化・追加・削除があった場合は、タイトル変遷とみなさず、別レコードは作成しない。それら並列タイトルは、NOTE フィールド（必要があればVT フィールド）に記録する。(⇒ 6.2.1F3.3, 6.2.7F3.7)

A4 (タイトル関連情報の変化)

NCR87R3 の 13.1.4.3 に従い、刊行途中にタイトル関連情報に変化・追加・削除があった場合は、タイトル変遷とみなさず、別レコードは作成しない。それらタイトル関連情報は、NOTE フィールド（必要があればVT フィールド）に記録する。(⇒ 6.2.1F4.4, 6.2.7F3.8)

ただし、本タイトルが簡略形で、タイトル関連情報とその展開形である場合は、タイトル関連情報の変更・追加はタイトル変遷とみなして、別書誌レコードを作成する。(NACSIS 独自規定)

A5 (版表示の変化)

NCR87R3 の 13.0.2.1B ア) および 13.2.1.3 に従い、刊行途中に版表示に対象範囲や主題が変わったことを示す変化がある場合は、タイトル変遷とみなし新規レコードを作成する。版表示の表現上の変化の場合、タイトル変遷とみなさず、変化後の版表示を注記する。(⇒ 6.2.2H1, 6.2.7F3.20)

A6 (巻次・年月次の変化)

NCR87R3 の 13.3.1.3 に従い、刊行途中に巻次・年月次に変化・追加があった場合は、タイトル変遷とはみなさず、別レコードは作成しない。巻次変更として、VLYR フィールドに記録する。(⇒ 6.2.3F4)

A7 (出版事項の変化)

NCR87R3 の 13.4.1.3 および 13.4.2.3 に従い、刊行途中での出版地、出版者の変化・追加など、出版事項だけに相違が発生しても、別レコードは作成しない。変化後の出版事項は、NOTE フィールドに記録する。(⇒ 6.2.4F2.3, F3.2, 6.2.7F3.13)

A8 (一時的な変化)

タイトル変遷とみなすデータの変化が一時的で、すぐに元のタイトルに戻ったとしても、変化があった都度に各々別書誌レコードを作成する。

6.0.1B [タイトル変遷の種類]

タイトル変遷には、次のような種類がある。

B1 (継続)

ある雑誌 (A) のタイトルが変更し別のタイトルの雑誌 (B) となった場合、継続関係のタイトル変遷が発生したとする。

A → B

なお、A 誌と B 誌が合併して C 誌になる場合、あるいは、A 誌が分離して B 誌と C 誌になる場合もこの継続関係になる。

A ———→ C (合併)
B ———→

A ———→ B (分離)
 → C

B2 (派生)

ある雑誌 (A) から別の雑誌 (B) が分離、独立して創刊され、かつ A のタイトル自体には変更がない場合に、派生関係のタイトル変遷が発生したとする。

A (引き続き存在する)
└──→ B

B3 (吸収)

ある雑誌 (B) に別の雑誌 (A) が吸収され、廃刊を迎え、かつ B のタイトル自体には変更がない場合に、吸収関係のタイトル変遷が発生したとする。

A ———┘
 ↓
 B

6.0.1C [タイトル変遷の表現]

タイトル変遷に関する情報は、次に示す変遷ブロックの各フィールドに記録する。

1. FID
2. BHNT

6.0.1D [変遷ブロックの記録方法]

変遷ブロックの FID フィールド、BHNT フィールドへの記録は、参加館からの報告に基づいて国立情報学研究所 (NII) が行う。変遷関係が生じた場合は、速やかに「変遷注記用データシート」を作成し、情報源のコピーとともに国立情報学研究所 (NII) 宛てに送付するものとする。

なお情報源は、和雑誌の場合、変遷前誌の終号、変遷後誌の初号の表紙が規定のものであるが、標題紙、背、奥付等と表記が異なる場合は、それらも送付する。

6.0.2 複製資料

6.0.2A [適用範囲]

写真複製，電子的複写などの方法で原本を忠実に再現させた複製資料（マイクロ資料，録音資料，コンピュータファイルなど，媒体は問わない）に適用する。

図書館などが資料の欠損部分を補うために，一部分のみを複製したものには適用しない。

6.0.2B [書誌レコードの作成基準]

B1（原則）

複製資料は，原本とは別の書誌レコードを作成する。

B2（同一資料からの複製）

同一資料から，同一の方法で作成された複製資料同士については，複製としての版や出版事項の相違により，書誌の異同を判断する。

B3（合刻複製）

複製時に，別のタイトルを持つ他の逐次刊行物と共に合刻されたものは，例えそれらが変遷関係にあっても，複製資料全体ではなく，収録されている個々の逐次刊行物の単位で書誌レコードを作成する。

6.0.2C [データ要素の情報源及び記入]

各フィールド毎，次のような情報源を基に記録する。

C1（一般資料種別 GMD，特定資料種別 SMD）

複製版自体によって記録する。

GMD:h（マイクロ形態を示すコード「h」を記録）

C2（刊年 YEAR）

NOTE に記録した原本の出版年を記録する。

C3（出版国 CENTRY）

複製版の出版地のコードを記録する。

C4（言語コード TTLL，TXTL，ORGL）

原本の言語コードを記録する。

C5（複製コード REPRO）

複製を示すコード「c」を記録する。

REPRO:c

C6（出版状況などのコード PSTAT，FREQ，REGL，TYPE）

記録しない。

C7 (各種番号 ISSN, XISSN, NDLPN, CODEN)

複製版の番号などを記録する。原本の ISSN については、XISSN フィールドに記録し、同時に NOTE フィールドに記録する。(→ 6.2.7F3.17)

C8 (タイトル及び責任表示 TR)

原本に該当する情報源を採用する。(→ NCR87R3 13.1.0.3 別法)

複製時のタイトルが原本のものと異なる場合は、VT フィールド及び NOTE フィールドに記録する。(→ 6.2.6F2, 6.2.7F3.17)

複製版にのみ関わる責任表示は、ED に版責任表示として記録する。(→ 6.2.2F2)

C9 (版に関する事項 ED)

複製版の版表示を記録する。版表示がない場合は、補記することが望ましい。

ED:複製版

ED:[複製版]

原本にのみ関わる版表示及び関連事項は、NOTE フィールドに記録する。(→ 6.2.7F3.17)

C10 (巻次・年月次 VLYR)

原本の巻次・年月次を記録する。(→ NCR87R3 13.3.0.3)

部分的な複製は、複製された範囲に対応する原本の巻次・年月次を記録する。

C11 (出版・頒布などに関する事項 PUB)

複製版の出版事項を記録する。(→ NCR87R3 13.4.0.3)

C12 (形態に関する事項 PHYS)

複製版の形態に関する事項を記録する。

C13 (その他のタイトル VT)

原本及び複製版の情報源のどこからでも採用できる。

複製時に付与された原本と異なるタイトルや合刻複製版の総合タイトルについては、タイトルの種類コード(OH)と共に VT フィールドに記録し、同時に NOTE フィールドにも記録する。(→ 6.2.6F2, 6.2.6F3, 6.2.7F3.17)

C14 (注記 NOTE)

原本及び複製版の情報源のどこからでも採用できる。

原本の情報源からの注記としては、以下のようなものがある。(→ 6.2.7F3.17)

- (1) 原本の ISSN (検索の便宜を考え、XISSN フィールドにも記録する)。
- (2) 原本のみに関わる版表示。
- (3) 原本の出版事項。
- (4) 原本のタイトル変遷関係。

複製版の情報源からの注記としては、以下のようなものがある。(→ 6.2.6F2, 6.2.6F3, 6.2.7F3.17)

- (1) 複製時に付与された原本と異なるタイトルや合刻複製版の総合タイトル (検索の便宜を考え、VT フィールドにも記録する)。
- (2) 複製時に共に合冊されている他のタイトル (検索の便宜を考え VT フィールドにも記録する)。

C15 (価格など/入手条件 PRICE)

複製版の価格などを記録する。

C16 (変遷ファミリーID FID, 変遷注記 BHNT)

複製資料間のタイトル変遷に関する事項は、ここに記録しない。原本のタイトル変遷関係は、NOTE フィールドに記録する。(→ 6.2.7F3.17)

(裏白)

6.0.3 総称的タイトル

逐次刊行物のタイトルが総称的な語からなる場合、他の逐次刊行物との識別を容易にするため、TR フィールドには必ず責任表示を記録する。(→ 6.2.1F5.4, 6.2.1F5.5)

6.0.3A [判定基準]

総称的なタイトルであるかどうかの判定は、次のような基準に従い行う。(→ 7.0.3)

- (1) ISDS における総称的な語の定義は、「出版物の種類及び（または）頻度を示すもの」である。各々の判断は、この定義によるものとする。

(例)

会議録	月報	速報
会誌	研究	年報
会報	研究報告	プログラム
概要	広報	報告
季報	雑誌	報告書
紀要	資料	要覧

- (2) タイトル中に主題内容や範囲を示す語を含む（あるいはこれらの語によって構成されている）場合は、総称的とはみなさない。

(例)

近代文学研究
 経済
 経営研究
 人類学研究
 天文学
 行動科学研究
 化学雑誌
 科学
 医学中央雑誌

- (3) タイトル中に出版物の頻度または種類を示す語以外のものを含む場合は、通常総称的タイトルとみなさない。

(例)

熊本市勢要覧
 健康管理年報

(裏白)

6.0.4 電子ジャーナルの書誌記述

当面、電子ジャーナルの書誌記述に関しては、本規定を暫定的に適用する。

6.0.4A [適用範囲]

この入力基準を適用するのは、以下の条件をすべて満たす電子ジャーナルとする。

- ① 一つのタイトルのもとに、終期を予定せず、巻次・年月次を追って継続的に提供されているもの。すなわち、逐次刊行物の定義に合致するもの。
- ② 図書館でアクセスを保証できるもの。具体的には、出版者から購入しているオンラインジャーナルや図書館等で作成・提供しているオンライン研究紀要類など。ILL で利用可能かどうかは問わない。
- ③ ネットワーク上で提供されており、URL などネットワークアクセスのための識別子をもつもの。

以下のものには、この入力基準を適用しない。

- ① 逐次刊行物の定義に合致しないインターネット上のコンテンツ。
- ② 図書館としてアクセスを保証できない、ライセンスフリーの電子ジャーナル。
- ③ CD-ROM 形態等のローカルアクセスで利用する電子ジャーナル（これらについては、従来の雑誌書誌レコードの記述方法で対応する）。
- ④ NACSIS-IR 等の情報検索サービスで利用可能な、全文データベースや2次情報データベース。

6.0.4B [書誌レコードの作成基準]

B1 (原則)

ネットワーク上の電子資料とは別に、冊子体やCD-ROM等の異なる資料種別で刊行されている場合は、それぞれ別の書誌レコードを作成する。

B2 (タイトル変遷)

タイトル変遷が発生した場合、変遷前と変遷後で別の書誌レコードを作成する。

変遷前のタイトルとして利用不可能になったとしても、別書誌レコードのままとする。

TR:オンライン・システムニュースレター / 学術情報センター[編] || オンライン システム ニュースレター

VLYR:No. 1 (1986.11)-no. 70 (2000.3)

BHNT:CS:NACSIS-CAT/ILL ニュースレター / 国立情報学研究所[編]

NOTE:2000年3月終刊

TR:NACSIS-CAT/ILL ニュースレター / 国立情報学研究所[編] || NACSIS-CAT/ILL ニュースレター

VLYR:No. 1 (2000.8)-

BHNT:CF:オンライン・システムニュースレター / 学術情報センター[編]

TR:Research & education networking

VLYR:Vol. 1, no. 1 (Oct. 1990)-v. 3, no. 6 (July/Aug. 1992)

BHNT:CS:Internet world

NOTE:Ceased in 1992

TR:Internet world

VLYR:Vol. 3, no. 7 (Sept. 1992)-v. 9, no. 2 (Feb. 1998)

BHNT:CF: Research & education networking

B3 (複数のアクセス先)

同一の電子ジャーナルが複数のアクセス先を持つ場合は、別の書誌レコードとはしない。IDENT フィールドに複数のアクセス先を記述する。(→6.0.4D3.2)

B4 (ファイルフォーマット等の違い)

同一の電子ジャーナルが、HTML や PDF 等、複数のファイルフォーマット (文字セット、言語の違いも含む) で提供されている場合は、別の書誌レコードとはしない。

NOTE フィールドに複数のファイルフォーマットを記述する。(→6.0.4D4.5)

6.0.4C [記述の情報源]

記述のための情報源は、以下の優先順位で採用する。

- 1) タイトル画面
- 2) その他の内部情報 (メニュー、プログラム記述、リードミー・ファイル、索引など)
- 3) その他の情報源

従来の記述を行う上で基準となっていた初号は、単独の情報源として存在するとは限らず、情報源自体が最新のものに変更されることから、確認できる最新の情報源を記述の基準とする。

6.0.4D [データの記入] (以下のフィールド毎の規定は、6.1 以下の各規定にも反映する)

各フィールド毎、次のように記録する。

以下に規定しないフィールドについては、第 6 章、第 7 章の各フィールドの規定に従ってデータ記入を行う。

D1 (一般資料種別 GMD, 特定資料種別 SMD)

機械可読データファイルに関する資料種別コードを記録する。

GMD:w SMD:r (機械可読データファイルを示すコード「w」、リモートファイルを示すコード「r」を記録)

D2 (形態に関する事項 PHYS)

ネットワークアクセスで利用する電子ジャーナルの場合、形態に関する事項は記録しない。

D3 (アクセス先に関する事項 IDENT) (Identifier: 資源識別子)**D3.1 (アクセス先の記録)**

ネットワークアクセスで利用する電子ジャーナルの場合、アクセス先の URL などに関する事項を記録する。

IDENT:http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/PUB/nl/nl.cont.html

IDENT:http://www.jbc.org/

D3.2 (複数のアクセス先)

サービス提供者により URL が異なる場合等、複数のアクセス先がある場合は、このフィールドを繰り返す。

TR:EMBO Journal Online

IDENT:http://www.emboj.org/

IDENT:http://intl.emboj.org/

D3.3 (アクセス先の変更)

なお、このアクセス先は、常に最新の利用可能なものを記録するものとする。利用不可能となった古いアクセス先は削除し、NOTE フィールドに記録する。

D4 (注記 NOTE)

D4.1(アクセス先の注記)

IDENT フィールドが利用できない場合の措置として、導入語句を伴う定型注記として記録することができる。複数のアクセス先がある場合は、このフィールドを繰り返す。

TR:The EMBO journal online

NOTE:URL:http://www.emboj.org/

NOTE:URL:http://intl.emboj.org/

NOTE:URL:mailto:mduerst@ifi.unizh.ch

NOTE:URL:news:comp.infosystems.www.servers.unix

D4.2 (古いアクセス先の注記)

URL 等が変更となった場合、利用不可能な古い URL を記録する。

TR:オンライン・システムニュースレター / 学術情報センター[編] | オンライン システム ニュースレター

NOTE:URL:http://www.nacsis.ac.jp/CAT-ILL/PUB/nl/nl.cont.html (2000年3月まで。現在は利用不可能)

TR:The rock free online magazine

NOTE:URL:http://www.paintedrock.com/ (as of Dec. 1998, unavailable now)

D4.3 (アクセス方法の注記)

アクセス方法に関して、導入語句を伴う定型注記として記録する。

NOTE:アクセス:WWWによる

NOTE:アクセス:telnetによる

NOTE:アクセス:Internet e-mailによる

NOTE:Access:via File Transfer Protocol services

NOTE:Access:via gopher scheme for Gopher and Gopher+ Protocol services

NOTE:Access:via TELNET Protocol

NOTE:Access:via electronic mail addresses

NOTE:Access:via news scheme for USENET news groups and articles

D4.4 (アクセス条件の注記)

所蔵図書館の購入契約条件などによらず、その雑誌に共通するアクセス条件に関して、導入語句を伴う定型注記として記録する。

NOTE:アクセス:利用はコンソーシアム参加館のみ

NOTE:アクセス:ライセンスフリー

NOTE:アクセス:ILL利用は不可

NOTE:Access:only consortium libraries

NOTE:Access:license free

D4.5 (ファイルフォーマット等の注記)

HTML や PDF 等, 複数のファイルフォーマット (文字セット, 言語の違いも含む) で提供されていることについて, その旨注記する。

NOTE:plain-text, TeX, PostScript file 形式により, 利用可能

NOTE:HTML, PostScript and ASCII formats

NOTE:HTML source files stored in .zip, .tar, and .sit formats for PC, Unix and Macintosh machines

NOTE:Available in GB, BIG5, and HZ formats for online viewing

NOTE:In English and Spanish

D4.6 (休刊等の注記)

休刊・廃刊等により, アクセスができなくなった場合, その旨注記する。

NOTE:アクセス:1999年1月から休刊により不可

NOTE:Access:Ceased publication in 1999

D4.7 (情報源の注記)

タイトルの情報源について注記する。

NOTE:タイトルは, no.13 タイトル画面より

NOTE:Description based on printout of online display of:Vol. 3, no. 6 (June 1996); title from title screen

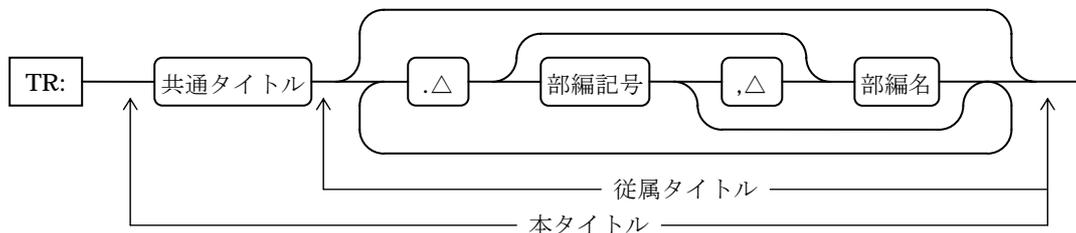
6.2.1 TR

6.2.1A [形式]

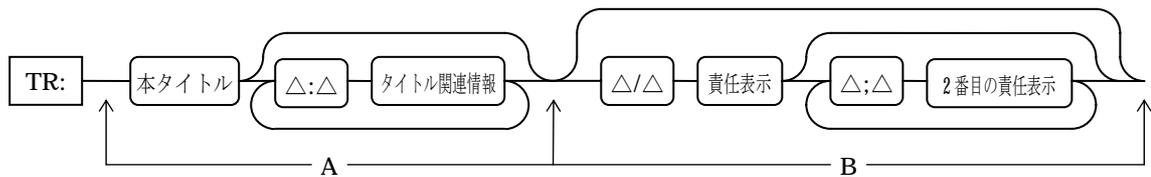
TR	入力レベル	属性	フィールド長	繰り返し数
タイトル及び責任表示に関する事項	必須 1	可変長		無
タイトル, 責任表示			1024 バイト	1
本タイトル	必須 1			無
タイトル関連情報	必須 2			有
並列タイトル	必須 2			有
並列タイトル関連情報	選択			有
責任表示	必須 2			有
並列責任表示	選択			有
タイトルのヨミ			1024 バイト	1
本タイトルのヨミ	必須 2			無
タイトル関連情報のヨミ	必須 2			有
並列タイトルのヨミ	必須 2			有
並列タイトル関連情報のヨミ	選択			有

6.2.1B [記述文法]

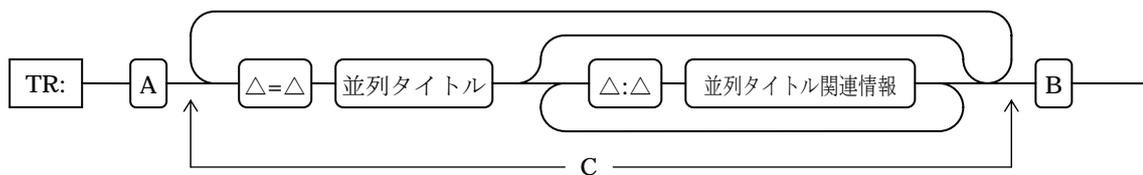
(1) 本タイトルが共通タイトルと従属タイトル (部編記号, 部編名) からなる場合



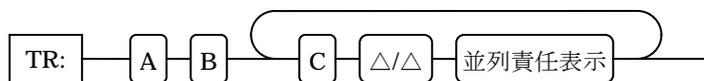
(2) 本タイトル, タイトル関連情報, 責任表示, (2 番目以降の責任表示)



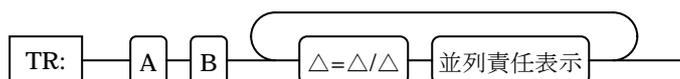
(3) 並列タイトル, 並列タイトル関連情報がある場合 [A, B の部分は, (2) と同じ]



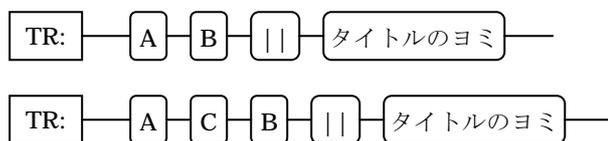
(4) 本タイトルと責任表示が並列する場合 [A~C の部分は, (2), (3) と同じ]



(5) 責任表示のみが並列する場合 [A, B の部分は, (2) と同じ]



(6) ヨミを記録する場合 [A~C の部分は, (2), (3) と同じ]



6.2.1C [NCR87R3 の区切り記号の採否]

NCR87R3 13.1.0.2 の採否は, 次の通りとする。

- (1) ア) は不採用とする。資料種別は GMD フィールド, SMD フィールドに記録する。
- (2) イ) は採用する。
- (3) ウ) は採用する。
- (4) エ) は不採用とする。
- (5) オ) は不採用とする。
- (6) カ) は採用する。
- (7) キ) は採用する。
- (8) ク) は採用する。

6.2.1D [フィールド内容とデータ要素]

TR フィールドには, 目録対象資料の本タイトル, タイトル関連情報, 責任表示, 及びタイトル (本タイトルとタイトル関連情報を含む) のヨミを, フィールド中のデータ要素として記録する。

それぞれのデータ要素に対応する並列データ要素は, 1 あるいは複数存在することがある。

タイトル関連情報及び責任表示は, 1 あるいは複数存在することがある。

6.2.1E [データ要素の情報源]

TR フィールドのデータ要素の情報源は, 表紙または標題紙のある場合は初号の表紙, 標題紙, 背, 奥付の順で採用する。表紙及び標題紙がない場合は, 題字欄とする。初号がない場合は, 所蔵する最も古い号とする。

(→ NCR87R3 13.0.3.1, NCR87R3 13.0.3.2)

6.2.1F [データ記入及び記入例]

F1 (本タイトル)

本タイトルは, 記述対象とする逐次刊行物全体を通じて共通し, 他の資料と同定識別できる固有の名称である。

(→ NCR87R3 13.1.1)

F1.1 (データ記入の原則)

本タイトルは、原則として、表示されているまゝを記録する。(→ NCR87R3 13.1.1.2)

表紙または標題紙のあるもので、表紙、標題紙、背、奥付に表示されている各タイトルが異なるときは、表紙、標題紙、背、奥付の優先順位に従って本タイトルを記録する。(→ NCR87R3 13.1.1.1D)

他のタイトルは「その他のタイトル」として、表示箇所を示す「タイトルの種類コード」と共に、VT フィールドに記録する。

TR:100 万人の音楽通信||100 マンニン ノ オンガク ツウシン
TR:ABC 研究||ABC ケンキュウ
TR:きよめの友||キヨメ ノ トモ
TR:ダイヤモンド経済情報||ダイヤモンド ケイザイ ジョウホウ
TR:愛知学藝雑誌||アイチ ガクゲイ ザッシン
TR:雨情会々報||ウジョウカイ カイホウ
TR:鐵道省年報||テツドウショウ ネンポウ

本タイトルを表紙の代替物から採用した場合、その場所を NOTE フィールドに記録する。(→ 6.2.7F3.5)

F1.2 (2つ以上の言語で表示されてある場合)

同一情報源に異なるタイトルの表示がある場合、より顕著に表示されているものを本タイトルとする。

(→ NCR87R3 13.1.1.1C)

本タイトルとして記録しなかったものは、並列タイトルとする。

F1.3 (団体名が本タイトルの一部であるかどうか判断できない場合)

情報源にタイトルと共に表示されている団体名(またはその略語)が、本タイトルの一部であるかどうか判断できない場合、その逐次刊行物の他の箇所の表示を参考にする。つまり、その団体名が他の箇所でもタイトルと共に表示されている場合は、本タイトルと判断し、本タイトルに含めて記載する。

F1.4 (回次・日付などを含むタイトル)

本タイトル中に、号ごとに変わる回次、日付などが含まれる場合は、この部分を省略する。(→ NCR87R3 1.1.1.1Bイ)

F1.5 (刊行頻度を示す語)

タイトルと一緒に表示されている刊行頻度を表す語は、同定識別上の必要があれば本タイトルの一部とみなすことができる。(→ NCR87R3 13.1.1.1エ)

表示の仕方が本タイトルの一部かどうか紛らわしい場合は、並列タイトルや他の箇所に表示されているタイトルの形を参考にする。(→ NCR87R3 1.1.1.1Bア)

TR:週刊朝日||シュウカン アサヒ

F2 (従属タイトル)

本タイトルは、部編に共通するタイトルと、個々の部編名または部編記号から構成される場合がある。

この部編に共通するタイトルを「共通タイトル」、部編名または部編記号の部分を「従属タイトル」という。

共通タイトルと従属タイトルは、原則として同じ情報源上に表示されていなければならない。

F2.1 (データ記入の原則)

従属タイトル部には、部編記号(番号付け、アルファベットなどによる部編の順序付けの表示)、部編名、またはその両方が含まれる。(→ NCR87R3 13.1.1.1A)

共通のタイトル部分と従属タイトル部分は、ピリオド、スペース(.△)で区切って記録する。

このような場合は、主情報源に表示された本タイトル各部分の構成順序にこだわらない。

F2.2 (部編記号がある場合など)

従属タイトル部が、部編記号と部編名からなる場合は、その間をコンマ、スペース(,△)で区切って記録する。

TR: 愛媛大学紀要. 第一部, 人文科学||エヒメ ダイガク キョウ. ダイ1ブ, ジンブン カガク

従属タイトル部が2以上の階層を持つ場合は、上位にあたるものから順に、ピリオド、スペース(.△)で区切る。

TR: 金沢大学教育学部紀要. 自然科学編. 地学教室業績||カナザワ ダイガク キョウイク ガクブ
キョウ. シゼン カガクヘン. チガク キョウシツ ギョウセキ

表示の仕方が部編記号、部編名に該当するか紛らわしい場合は、その逐次刊行物における表示の継続性、安定性により判断する。

F2.3 (独自のタイトルを持つ部編資料)

別個に出版され、独自のタイトルを持ってはいるが、他の逐次刊行物の部編にあたる出版物の場合、主情報源に共通タイトルが表示されていれば、それらを組み合わせた形で本タイトルを記録する。

共通タイトルが主情報源上に表示されていない場合は、従属タイトルだけをTRに記録する。共通タイトルは「その他のタイトル」として、VTフィールドに「タイトルの種類コード」(PT)と共に記録する。(→ 6.2.6F6.1)

ただし、共通タイトルが主情報源以外の箇所には表示されておらず、従属タイトルがそれ単独では固有のタイトルとならない場合は、例外として、共通のタイトルと従属タイトルが共に表示されている箇所を本タイトルの情報源とし、それらをあわせたものを本タイトルとして記録する。この場合、情報源の箇所について、NOTEフィールドに記録する。(→ 6.2.7F3.5)

NOTE: 共通タイトル部は奥付による

F2.4 (従属タイトルが主情報源上にない場合)

主情報源上に共通タイトルが表示され、目録対象資料の他の箇所に従属タイトル表示がある場合は、従属タイトルを角がっこ([])に入れて補記し、その情報源をNOTEフィールドに記録する。

TR: 国際関係研究. [特集編]||コクサイ カンケイ ケンキュウ. トクシュウヘン

NOTE: 従属タイトル部は奥付による

F2.5 (共通タイトルが不安定な場合)

共通タイトルが従属タイトルと同一情報源上にあったりなかったりする場合、または号によって表現がまちまちである場合、この共通タイトルはTRフィールドには記録せず、VTフィールドに「タイトルの種類コード」(PT)と共に記録する。(→ 6.2.6F6.2)

F2.6 (付録・補遺資料)

主情報源に、ある逐次刊行物のタイトルとその付録や補遺であることを示す表示がある場合、本体にあたる逐次刊行物のタイトルを共通タイトルとして記録し、ピリオド、スペース (.△) に続けて、付録や補遺である表示を記録する。

また、付録や補遺を示す語が、本体のタイトルと結びついて1つのタイトルになっている場合は、その表示の通りに記録する。

TR: 埼玉大学紀要. 増刊||サイタマ ダイガク キョウ. ズウカン

TR: 別冊みづゑ||ベッサツ ミズエ

ただしこれは、付録や補遺が本体とは別の独自の巻号付けを持つ場合に限る。本体と同一の巻号付けを持つ場合は、別レコードを作成しない。

F2.7 (独自のタイトルを持つ付録・補遺資料)

付録や補遺が独自のタイトルを持っていて、主情報源上に本体の付録・補遺であることを示すタイトル名と共に表示されている場合がある。このとき、下記のいずれにするのか判断に迷うときは、目録対象資料の他の箇所に表示されている形や、同じ本体に属する他の付録・補遺資料を参考にする。

- (1) この独自のタイトルを本タイトルとして記録する。
- (2) 本体となる逐次刊行物のタイトルの後ろに、従属タイトルとして記録する。

(2) で記録された逐次刊行物の刊行途中に本体のタイトルに重要な変化が生じた場合は、タイトル変遷とはせず、(1) の方法で全体を記録しなおす。

F2.8 (逐次刊行物全体の順序づけを表す表示)

「新編」、「II」あるいはこれと類似した年代順のシリーズ表示等、逐次刊行物全体の順序づけを表わす表示があり、シリーズ等に独自の巻次がある場合、順序づけを表わす表示を従属タイトルとして記録する。(NACSIS 独自規定)

TR: 科学技術文献総覧. 新輯||カガク ギジュツ ブンケン ソウラン. シンシュウ

TR: エピステーメー. II||エピステーメー. 2

TR: 海外大学経営セミナー報告書. 第2次||カイガイ ダイガク ケイエイ セミナー ホウコクショ.
ダイ2ジ

F2.9 (逐次刊行物全体の順序づけを表す表示の追加・削除・変化)

逐次刊行物全体の順序づけを表わす表示があった場合、巻次変更を伴わないかぎりタイトル変遷とはしない。追加・削除・変化後のタイトルについては、必要に応じてVT フィールド (タイトルの種類コード: OH), NOTE フィールドに記録する。(NACSIS 独自規定)

TR: 早稲田文学. 第8次||ワセダ ブンガク. ダイ8ジ

VT: OH: 早稲田文学. 第9次||ワセダ ブンガク. ダイ9ジ

NOTE: シリーズ表示の変化: 第8次(—no. 251 (1997. 4) →第9次(no. 252 (1997. 5) —)

F3 (並列タイトル)

並列タイトルは、本タイトルと同一の情報源上に表示された本タイトルの別言語・別文字による表現である。
(→ NCR87R3 13.1.3.1)

F3.1 (データ記入の原則)

並列タイトルは、本タイトルに続けて記録する。(→ NCR87 R3 13.1.3.2)
本タイトルと並列タイトルは、スペース、等号、スペース (△=△) で区切って記録する。

TR:シュトイエル = Steuer||シュトイエル

TR:Lumière = 季刊映画リュミエール||Lumière = キカン エイガ リュミエール

F3.2 (主情報源以外の並列タイトル)

主情報源以外の箇所に表示されている別言語・別文字タイトルは、TR フィールドに記録しない。これは「その他のタイトル」と見なし、表示箇所を示す「タイトルの種類コード」と共に VT フィールドに記録する。(→ 6.2.6F8)

F3.3 (並列タイトルの変更・追加)

刊行途中で並列タイトルの変更や追加があった場合は、TR フィールドには記録せず、「その他のタイトル」として、「タイトルの種類コード」(OH) と共に VT フィールドに記録する。

また、変更・追加のあった巻次・年月次と共に NOTE フィールドに記録する。(→ 6.2.7F3.7)

並列タイトルの変更・追加・表示順序の変更は、タイトル変遷の根拠とはならない。(→ 6.0.1)

F4 (タイトル関連情報)

タイトル関連情報は、本タイトルと同一の情報源上に表示された本タイトル、並列タイトル以外のタイトル、あるいは本タイトルに補完、限定説明を加える語句である。(→NCR87R3 13.1.4.0, NCR87R3 13.1.4.1)

F4.1 (データ記入の原則)

タイトル関連情報は、その関わる本タイトルに続けて記録する。(→ NCR87R3 13.1.4.2)
本タイトルとタイトル関連情報は、スペース、コロン、スペース (△:△) で区切って記録する。

TR:おんかん : 音楽鑑賞教育振興会会報||オンカン : オンガク カンショウ キョウイク シンコ
ウカイ カイホウ

TR:海潮音 : 英文學雑誌||カイチョウオン : エイブンガク ザッシ

F4.2 (主情報源以外にある本タイトルと異なる形のタイトル)

主情報源以外にある本タイトルの異形は、タイトル関連情報として記録せず、「その他のタイトル」と見なし、表示箇所を示す「タイトルの種類コード」と共に VT フィールドに記録する。(→ 6.2.6D2)

F4.3 (複数のタイトル関連情報)

複数のタイトル関連情報は、所定の情報源における表示の順で記録する。(→ NCR87R3 13.1.4.2A)

TR:外国語科教育 : 教員養成学部教官研究会 : 外国語科部会研究要録||ガイコクゴカ キョウ
イク : キョウイン ヨウセイ ガクブ キョウカン ケンキュウ シュウカイ : ガイコクゴカ ブカ
イ ケンキュウ ヨウロク

F4.4 (タイトル関連情報の変更・追加)

タイトル関連情報の変更や追加があった場合は、TR フィールドには記録せず、「その他のタイトル」として、「タイトルの種類コード」(OH) と共に VT フィールドに記録する。

また、NOTE フィールドに変更・追加のあった巻次・年月次と共に記録する。(→ 6.2.7F3.8)

タイトル関連情報の変更・追加・表示順序の変更は、タイトル変遷の根拠とはならない。

F5 (責任表示)

責任表示は、本タイトルと同一の情報源上に表示された、逐次刊行物の知的もしくは芸術的内容の創造、具現化に責任を有するか、寄与している団体及びその役割に関する表示である。(→ NCR87R3 13.1.5.0, NCR87R3 13.1.5.1)

F5.1 (データ記入の原則)

責任表示は、その逐次刊行物の編者などに、著作の種類を示す語(編等)を付したものを、情報源の表示形のまま記録する。(→ NCR87R3 13.1.5.2)

責任表示は、タイトルの後に、スペース、スラッシュ、スペース(△/△)で区切って記録する。

団体名称が、内部組織を含めて表示されている時でも、そのままの形で記録する。

識別上必要な場合以外、団体名の冒頭に表示されている法人組織などを示す語は省略する。(→ NCR87R3 13.1.5.2F)

TR:音楽雑誌フィルハーモニー / 日本交響楽団 [編]||オンガク ザッシ フィルハーモニー

TR:住宅用地完成面積調査報告 / 建設省建設経済局調査情報課 [編]||ジュウタク ヨウチ カンセイ
イ メンセキ チョウサ ホウコク

F5.2 (完全な形では表示されていない責任表示)

記述対象中に責任表示が簡略形や別言語・別文字表記でしか表示されていない場合は、他の資料から完全な形が分かっている場合、表示されているそのままの形を記録する。目録担当者の判断で合成・補完・翻訳・翻字などを行ってはならない。

そのような表示が必要なときは、AL フィールドまたは該当著者名典拠レコードのSF フィールドに記録する。

TR:STERA : satellite television radio : NHK ウィークリーステラ / NHK [編]||STERA : satellite
television radio : NHK ウィークリー ステラ

AL:日本放送協会||ニホン ホウソウ キョウカイ

F5.3 (責任表示の変更・追加)

刊行途中で責任表示の変更や追加があった場合や、途中の号から表示された場合は、TR フィールドには記録せずに、NOTE フィールドに変更・追加のあった巻次・年月次と共に記録する。(→ 6.2.7F3.11)

TR:SELLA / 白百合女子大学英文学会 [編]||SELLA

NOTE:責任表示の変更: 白百合女子大学英文学会 (1号 (1972) -23号 (1994)) →白百合女子大
学英語英文学会 (24号 (1995) -)

F5.4 (総称的タイトルの責任表示)

本タイトルが総称的(ジェネリック)なものである場合は、識別のために責任表示を必ず記録する。もし情報源に責任表示がない場合は、角がっこに入れて補記する。(→ 6.0.3)

TR:研究紀要 / 宮城県高等学校社会科教育研究会紀要編集委員会 [編集]||ケンキュウ キョウ

TR:年報 / [千葉県立大根博物館編集]||ネンポウ

F5.5 (本タイトルが総称的タイトルである場合の責任表示の変更)

責任表示の変更・追加はタイトル変遷の根拠とはならない。(→ 6.0.1)

ただし、本タイトルが総称的(ジェネリック)である場合は、タイトル変遷とし、別書誌レコードを作成する。(→ NCR87R3 13.0.2.1A)

F5.6 (個人に関する責任表示)

情報源に個人編者に関する責任表示があっても、これを責任表示として記録しない。必要ならば、NOTE フィールドに記録する。(→ 6.2.7F3.11, NCR87R3 13.1.5.1A)

TR:早晩廢刊雑誌||ソウバン ハイカン ザッシン

NOTE:主筆:宮武外骨

F5.7 (タイトル及びタイトル関連情報中の責任表示団体)

責任表示に該当する団体名が本タイトルまたはタイトル関連情報の一部として表示されていても、タイトルとは独立した責任表示が主情報源上にないかぎり、それを責任表示として記録しない。

TR:電気通信学会全国大会講演論文集||デンキ ツウシン ガッカイ ゼンコク タイカイ コウエン
ロンブンシュウ

F5.8 (複数の責任表示)

同じ役割の責任表示が複数ある場合は、個々の責任表示を、コンマ、スペース(,)、△)で区切って、所定の情報源における表示で記録する。(→ NCR87R3 13.1.5.2C)

役割の異なる責任表示が複数ある場合は、役割の異なる責任表示を、スペース、セミコロン、スペース(Δ;Δ)で区切って記録する。(→ NCR87R3 13.1.5.1D)

F6 (タイトルのヨミ, タイトル関連情報のヨミ)

タイトルやタイトル関連情報(並列タイトル及び並列タイトル関連情報を含む)のヨミは、それに対応する読み方を記録する。

ヨミの表記法については、「目録情報の基準」11.3(ヨミの表記及び分かち書き規則)による。

重要なその他のヨミについては、VT フィールドに記録する。(→ 6.2.6F11)

6.2.1G [フィールドの繰り返し]

フィールドの繰り返しはない。

6.2.1H (選択事項)**H1 (並列タイトル関連情報)**

並列タイトル関連情報を記録するかどうかは、各参加組織が選択できる。

H2（並列責任表示）

並列責任表示を記録するかどうかは、各参加組織が選択できる。

6.2.11 《注意事項》

欧文タイトルの大文字使用法は、当該言語の規則の指示に従う。

(裏白)

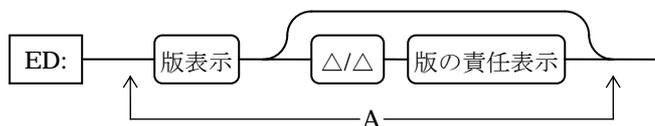
6.2.2 ED

6.2.2A [形式]

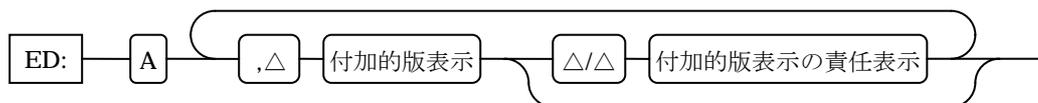
ED	入力レベル	属性	フィールド長	繰り返し数
版に関する事項	必須 2	可変長	512 バイト	1
版表示	必須 1			無
版に関する責任表示	必須 2			有
並列版表示	選択			有
並列版表示の責任表示	選択			有
付加的版表示	必須 2			有
付加的版表示の責任表示	選択			有

6.2.2B [記述文法]

(1) 一般的な記述文法



(2) 付加的版表示を記録する場合 [A の部分は、(1) と同じ]



6.2.2C [NCR87R3 の区切り記号の採否]

NCR87R3 13.2.0.2 の採否は、全て採用とする。ただし、エリア間の区切り記号については採用しない。

6.2.2D [フィールド内容とデータ要素]

ED フィールドには、以下の内容を記録する。

(1) 版表示

同一のタイトル（言語・文字を異にする場合もある）を持ち、内容がほぼ同一で、言語や表現、体裁を異にして刊行されたもの相互間、あるいは内容の一部を変更して刊行されたものの相互間、あるいはそれらと原本との関係・相違を表わす表示。

ただし、装丁の相違のみを表す語句はこれに含めない。

(2) 版に関する責任表示

当該資料の 1 種類以上の版に対しては関係しているが、すべての版に対しては関係していないような責任表示をいう。

(3) 付加的版表示

ある特定の版に対して変更が加えられ、再発行されたような場合に、その版に付加される版表示をいう。

以上に加え、付加的版表示に関する責任表示もデータ要素となる。

6.2.2E [データ要素の情報源]

ED フィールドのデータ要素の情報源は、初号の表紙、標題紙、背、奥付とする。ただし、表紙及び標題紙を欠く記述対象の場合は題字欄とする。初号がない場合は、所蔵する最も古い号とする。(→ NCR87R3 13.0.3.1, NCR87R3 13.0.3.2)

6.2.2F [データ記入及び記入例]

F1 (データ記入の原則)

版表示は、情報源における表示のまま記録する。情報源上に表示がなくても、他の版と顕著な差があると認められた場合は、適切な語句などを補うことによって、特定の版であることを示す必要がある。補記した事項は角がっこに入れる。ただし、初版の表示は記録しない。(→ NCR87R3 13.2.1.2)

数字はアラビア数字とし、ローマ字ないしキリル文字の所定の略語がある語は、略語化する。(→ NCR87R 3 1.2.1.2A, NCR87R3 付録2 略語表)

F1.1 (版表示とするもの)

(1) 逐次刊行物全体の再刊または改訂を示す、複製版表示または再刊の表示

ED:復刻版

ED:複製版

ED:影印版

ED:再版

ED:遡及版

(2) 特殊な体裁または形態の表示

ED:縮刷版

ED:マイクロフィルム版

ED:CD-ROM 版

ED:カセットテープ版

ED:点字版

ED:机上版

(3) 刊行方法の違いを示す版の表示

ED:公文書版

ED:市販本版

ED:普及版

(4) 地方版の表示

ED:国内版

ED:首都圏版

ED:北海道・東北版

(5) 特殊対象向けの版の表示

ED: 学生版

(6) 言語版表示

ED: 日本語版

ED: 中文版

F1.2 (版表示としないもの)

以下のものは版表示として扱わない。(→ NCR87R3 13.2.1.1A)

(1) 巻次・年月次を示す表示

(2) 刷次を示す表示

上記に加え、以下のものも版表示としない。

(3) 定期的な改訂を示す表示 (例えば6か月ごとに発行する改訂版)

(4) 特定号のみの改訂を示す表示

(5) 部編を示す表示

(例)

累積索引版

第2次

(6) 出版者を示す表示

(例)

学生社版

一粒社版

日本評論社版

(7) タイトル関連情報にあたる表示

(例)

新聞広告: 縮刷版 (全国主要新聞に掲載された広告を編集した月刊誌)

調査資料版

緊急特集版

F2 (版責任表示)

その版のみに関わる、あるいは他の版にも関わるが全ての版には関わらない責任表示は、版表示に続けて記録する。(→ NCR87R3 13.2.2)

同じ役割の版責任表示を列記する場合は、コンマ、スペース (, Δ) でつなぐ。

役割の異なる版責任表示を列記する場合は、スペース、セミコロン、スペース (Δ;Δ) でつなぐ。

ED:復刻版 / 幼児の教育復刻刊行会編

ED:[復刻版] / 法政大学大原社会問題研究所, 総同盟五十年史刊行委員会編

F3 (付加的版表示)

ある版の中にさらに変更が加えられ、特定の版表示がある場合、情報源における表示のまま記録する。

(→ NCR87R3 13.2.3)

付加的版表示の種類としては、次のようなものがある。

(1) 特定の版に属する下位の版

ED:[カセットテープ版], 英語版

(2) 特定の版の改訂版, 増補版

ED:復刻版, 新装版

6.2.2H 《注意事項》**H1 (版表示の変更・追加)**

刊行途中に版表示に対象範囲や主題が変わったことを示す変化がある場合は、タイトル変遷とみなし別書誌レコードを作成する。(→6.0.1A5, 6.2.7F3.20)

ただし、版表示の表現上の変化、版責任表示の変更・追加は別書誌レコード作成の根拠とはならない。これらの情報は、NOTE フィールドに記録する。

H2 (複製版の原本に関わる版表示)

複製版において、複製の対象になった原本に関わる版表示は、NOTE フィールドに記録する。付加的版表示としてはならない。

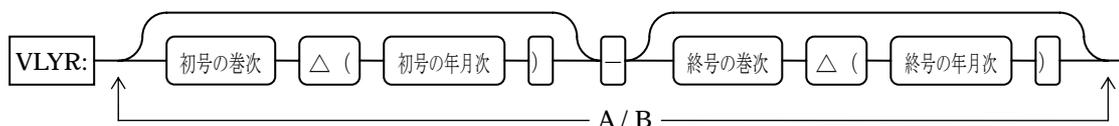
6.2.3 VLYR

6.2.3A [形式]

VLYR	入力レベル	属性	フィールド長	繰り返し数
巻次・年月次に関する事項	必須2	可変長	1024 バイト	1
巻次・年月次表示	必須1			無
別形式の巻次・年月次表示	選択			有
巻次変更後の巻次・年月次表示	必須2			有

6.2.3B [記述文法]

(1) 一般的な記述文法



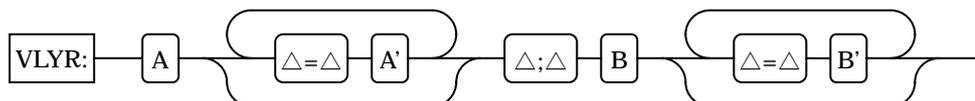
(2) 別形式の巻次・年月次表示がある場合 [A, A' の部分は, (1) と同じである]



(3) 巻次変更がある場合 [A, B の部分は, (1) と同じである]



(4) 別形式の巻次表示と巻次変更を同時に表現する場合 [A, A' , B, B' の部分は, (1) と同じである]



6.2.3C [NCR87R3 の区切り記号の採否]

NCR87R3 13.3.0.2 の採否は, 次の通りとする。

- (1) ア) は不採用とする。
- (2) イ) は採用とするが, 丸がっこの前にスペースを置くが, 丸がっこを閉じた後にはスペースを置かないとする。
- (3) ウ) は採用する。
- (4) エ) は採用する。

6.2.3D [フィールド内容とデータ要素]

VLYR フィールドには, 逐次刊行物の各出版物理単位を順序付けする巻次及び年月次表示を記録する。

巻次は番号などにより順序付けを示すものであり, 年月次は年月日あるいはそれに準じた暦に関連する記号により順序付けを示す。これに対して出版日付は, 出版年や出版日を明示したものであり, 年月次と基本的に性格を異にする。巻次・年月次を持たない資料は, 逐次刊行物として扱うことはできない。

6.2.3E [データ要素の情報源]

VLYR フィールドのデータ要素の情報源は、当該出版物全体とする。(→ NCR87R3 13.0.3.2)

ただし、初号(あるいは変遷直後号)と終号(あるいは変遷直前号)によってのみ、記録が可能である。初号も終号も所蔵していない場合は、このフィールドには記録できない。(→ NCR87R3 13.3.1)

6.2.3F [データ記入及び記入例]**F1 (データ記入の原則)****F1.1 (巻次の転記)**

巻次の転記は、数詞・数字は原則としてアラビア数字を用いる。巻次の「第」の字は省略する。(NACSIS 独自規定)

欧文表記の場合は、各言語の大文字使用法、標準的な略語・数詞に変換して記録する。(→ NCR87R3 付録2)

VLYR:1 輯
 VLYR:1 回 (表記は「第1回」)
 VLYR:1 巻1 號
 VLYR:Vol. 1, no. 1

F1.2 (年月次の転記)

年月次は、対応する巻次に続けて丸がっこ(())内に記録する。転記にあたっては、数詞・数字は原則としてアラビア数字を用いる。

明治以降の元号は、頭1字のみに短縮する。「年・月・日」「号・版・度」など年月次の数字に付随する文字は、省略する。(NACSIS 独自規定)

欧文表記の場合は、各言語の大文字使用法、標準的な略語を使用して記録する。(→ NCR87R3 付録2)

VLYR:1 巻1 号 (大1.12) -
 VLYR:1 輯 (明41.5) -
 VLYR:1 次 (明6.7) -65 次 (昭15)
 VLYR:1 回 (昭61.2) -

F2 (巻次・年月次の記述)**F2.1 (初号・変遷直後号の記録)**

初号・変遷直後号の巻次年月次とハイフン(-)を記録する。

VLYR:1 集 (昭59.5) -
 VLYR:-240 号 (昭18.12) ; 1 巻1 号 (昭23.10) -

F2.2 (継続刊行途中号の記録)

初号の巻次・年月次が既に記録されている場合は、何も記録しない。

F2.3 (終号・変遷直前号の記録)

ハイフン(-)と終号・変遷直前号の巻次・年月次を記録する。

VLYR:-復刊4 号 (昭62.10)
 VLYR:-132 回 (明43.6)

F2.4 (初号に巻次・年月次の表示がないもので推測可)

初号に巻次・年月次の表示がない場合、それに続く号で順序づけと見なせる数字・記号が出現する場合、その表示方法に従って、初号の巻次・年月次を補記することができる。(→ NCR87R3 13.3.1.1)

VLYR:創刊[1]号 (1991.3) –
VLYR:創刊準備[0]号 (1981.11) –
VLYR:[昭和33年上期 (昭33.上期)]–

F2.5 (巻次がない場合)

巻次の表記が全く現れない場合は、年月次を代用して記録する。(NACSIS独自規定)
巻次が途中で消滅した場合には、巻次変更の扱いが必要である。

VLYR:平成元年1月号 (平1.1) –
VLYR:昭和41年 (昭41)–昭和49年 (昭49)
VLYR:1巻 (昭40)–4巻 (昭43) ; 昭和44年 (昭44) –
(5巻以降には、巻次表示が現れない)

F2.6 (年月次がない場合)

年月次の表示が全く現れない場合や、途中で消滅した場合には、出版年、頒布年などを補記する。(→ NCR87R3 13.3.2別法, NCR87R3 13.3.2 補記についてはNACSIS独自規定)

VLYR:28巻7号 ([平1.3]) –

F2.7 (合併号の場合)

記入すべき号が合併号である場合、合併号を一つの号であると見なし、号を切り分けては記録しない。その場合の接続記号は、表紙などに用いられている表示をそのまま記録する。

VLYR:昭和34～35年度 (昭34～35)–昭和63年度 (昭63)
VLYR:1号 (1951.12)–149–150号 (1989.3)
VLYR:1巻1・2号 (平1.4・5) –
VLYR:6/7/8号 (1964/1965/1966) –

F2.8 (単一の号しか刊行されなかった場合)

単一の号しか刊行されなかった場合は、その号が初号でありまた終号であると見なし、その号の巻次・年月次を2つ記入し、ハイフン(–)でそれらをつなぐ。(NACSIS独自規定)

VLYR:1号 (1960.11)–1号 (1960.11)

F3 (別形式の巻次・年月次表示がある場合の優先順位)

2以上の巻次・年月次の表示方式がある場合、表示されている順序でそれらを記録する。(→ NCR87R3 13.3.1.2) ただし、以下のような場合は、優先順位に従うこととする。(NACSIS独自規定)

F3.1 (タイトル変遷後の巻次)

変遷後に付与された巻次は、変遷前誌より引き継いだ巻次より優先使用する。

F3.2 (固有の巻次)

当該の逐次刊行物固有の巻次は、他の逐次刊行物と共有する巻次より優先して使用する。また、全ての部編に共通する巻次とその部編に固有の巻次とでは、その部編に固有の巻次を優先使用する。

F3.3 (日本語の表示)

巻次の採り方が同一の、日本語と別言語(別文字)による表示がある場合、日本語表示のみを採用する。

× VLYR:1 巻1号 (昭60.1) - = Vol. 1, no. 1 (Jan. 1985) - のようには記録しない。

F3.4 (2階層の巻次)

2階層の巻次(巻号表示など)は、1階層の巻次(通号表示など)より優先使用する。

VLYR:1 巻1号 (昭36.1) - = 通巻1号 (昭36.1) -

VLYR:1 巻1号 (昭36.1) -27 巻12号 (昭63.12) = 通巻1号 (昭36.1) -324号 (昭63.12)

F3.5 (非優先使用の巻次の表現)

上記の優先して使用する巻次表示以外の表示も併記することができる。併記する場合は各方式間をスペース、等号、スペース(△=△)でつないで表示する。

VLYR:-34 巻2号 (昭59.2) = -通巻396号 (昭59.2)

VLYR:復刊1号 (昭62.1) -復刊4号 (昭62.10) = 通刊13号 (昭62.1) -通刊16号 (昭62.10)

F4 (巻次・年月次表示の変更)

巻次の取り方が変更になった場合、旧方式による初号、終号の巻次・年月次を記録したあと、スペース、セミコロン、スペース(△;△)に続いて新方式による巻次・年月次を記録する。(→ NCR87R3 13.3.1.3)

ただし、以下のような方法を採用する。(NACSIS独自規定)

F4.1 (優先順位が上位の表示方法が出現した場合)

VLYR:1号 (昭60.2) -12号 (昭60.12) ; 1巻1号 (昭61.1) -

F4.2 (優先順位が上位の表示方法が消滅した場合)

優先順位が下位であった表現方法を繰り上げて使用する。

VLYR:1 巻1号 (平2.1) -1 巻12号 (平2.12) ; 13号 (平3.1) -

F4.3 (巻次の数字が後退, 反復, 極端に飛躍した場合)

VLYR:1 巻 (平2.1) -12 巻 (平2.12) ; 1 巻 (平3.1) -

このような場合、別に書誌レコードを作成すべき場合もある。出版者や編集者の意図から継続関係の十分な調査が必要である。(→ 0.4.3B4)

F4.4 (年月次表示形式が変更の場合)

年月次の変更は巻次変更とは見なさず、記録しない。ただし、巻次表示がないために、年月次を代用して巻次としている場合には、巻次変更と同様の扱いとし、スペース、セミコロン、スペース(Δ;Δ)に続けて、新しい年次を記録する。

年号が年次となっている場合で、改元前と改元後の年号の双方が併記されている場合は、原則として改元後の年号を記録する。双方が併記されている期間については、NOTE フィールドに記録する。

VLYR: -昭和 64 年版 (昭 64) ; 平成 2 年版 (平 2) -

VLYR: -昭和 64 年 1 月 1 日 (昭 64.1.1) ; 平成 2 年 1 月 1 日 (平 2.1.1) -

VLYR: -昭和 63 年平成元年度 (昭 63/平 1) -

F5 (巻次変更とは見なさない場合)

F5.1 (巻次の呼称の変化)

単なる呼称の変化は、巻次変更とはしない。

F5.2 (巻次体系の階層は変化するが、巻レベルの数値が一貫している場合)

○ VLYR: 1 巻 (平 2.1) -

× VLYR: 1 巻 (平 2.1) -12 巻 (平 2.12) ; 13 巻 1 号 (平 3.1) - のようには記録しない。

F5.3 (他の逐次刊行物と巻次体系を共有している場合)

他の逐次刊行物と巻次体系を共有しており、そのために巻次が不連続になる場合は、巻次変更とはしないで、NOTE フィールドにその事実を記録する。

第一分冊が、1 巻 1 号、1 巻 3 号、1 巻 5 号

第二分冊が、1 巻 2 号、1 巻 4 号、1 巻 6 号

F5.4 (誤植による巻次の数値の後退、反復、飛躍の場合)

誤植による巻次の乱れは、巻次変更としない。誤植の事実については、NOTE フィールドに記録する。

(→ 6.2.7F3.12)

F5.5 (巻次が反復する場合)

「巻」に相当するものがなく、号数のみが反復する場合には、号数が元に戻るたびに巻次変更とはせず、適宜の巻(年次など)を補記し、巻次が一貫するように記録する。

○ VLYR: [1990], 1 (1990.1) -[1991], 12 (1992.12)

× VLYR: 1 (1990.1) -12 (1990.12) ; 1 (1991.1) -12 (1992.12) のようには記録しない。

F6 (資料全体の順序づけを示す表示)

資料全体の順序づけを示す表示(「II」, 「第2次」など)の変更・追加は、巻次変更とはせず、タイトル変遷と見なし、別書誌を作成する。(NACSIS 独自規定) (→ 6.2.1F2.8)

F7 (巻次・年月次に関する注記)

巻次・年月次について説明する必要があるときは、NOTE フィールドに記録する。(→ 6.2.7F3.12)

NOTE: 号外: 昭和 32 年 9 月, 昭和 47 年 3 月

(裏白)

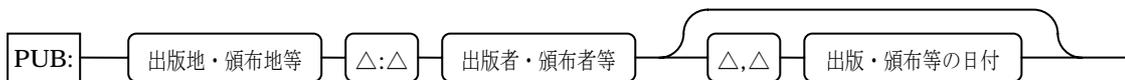
6.2.4 PUB

6.2.4A [形式]

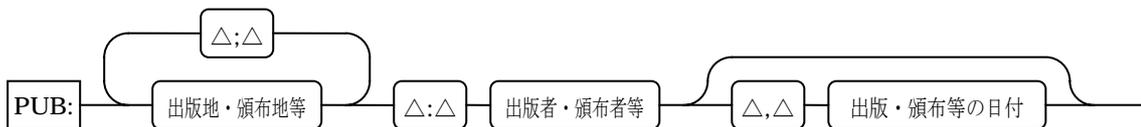
PUB	入力レベル	属性	フィールド長	繰り返し数
出版, 頒布等に関する事項	必須 1	可変長		4
出版地・頒布地等	必須 2	可変長	254 バイト	有
出版者・頒布者	必須 2	可変長	254 バイト	有
日付	必須 2	可変長	254 バイト	無

6.2.4B [記述文法]

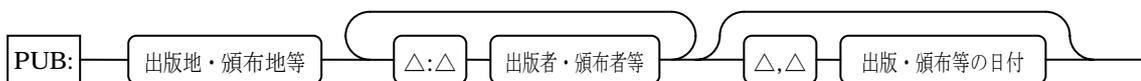
(1) 一般的な記述文法



(2) 複数の出版地・頒布地等がある場合



(3) 複数の出版者・頒布地等の出版地・頒布地などが同一の場合



(4) 製作等に関する事項



6.2.4C [NCR87R3 の区切り記号の採否]

NCR87R3 13.4.0.2の採否は、次の通りとする。

- (1) ア) は不採用とする。
- (2) イ) は採用する。
- (3) ウ) は採用する。
- (4) エ) は採用する。
- (5) オ) の出版年・頒布年等の前に置く区切り記号は、コンマ、スペース (, △) ではなく、スペース、コンマ、スペース (△, △) を置くものとする。
- (6) カ) の製作項目 (製作地, 製作者, 製作年) は、出版・頒布に関するデータ要素とは別に、PUB フィールドを繰り返したうえで丸がっこに入れて記録し、丸がっこの前にはスペースは置かない。
- (7) キ) は採用する。
- (8) ク) の製作年の前に置く区切り記号については、コンマ、スペース (, △) ではなく、スペース、コンマ、スペース (△, △) を置くものとする。

また、出版地の識別のための都道府県名の付記、発売などの頒布者の役割表示の付記は丸がっこ () に入れる。

6.2.4D [フィールド内容とデータ要素]

PUB フィールドには、以下の内容を記録する。

- (1) 出版地・頒布地等
- (2) 出版者・頒布者等
- (3) 出版年・頒布年等
- (4) 製作項目（製作地，製作者，製作年）

6.2.4E [データ要素の情報源]

PUB フィールドのデータ要素の情報源は、初号の表紙、標題紙、背、奥付とする。ただし、表紙及び標題紙を欠く記述対象の場合は題字欄とする。初号がない場合は、所蔵する最も古い号とする。(→ NCR87R3 13.0.3.1, NCR87R3 13.0.3.2)

出版年の情報源は初号、終号のみである。所蔵最古号や参照ファイルの情報からは記録できない。

規定の情報源以外から得た情報は、角がっこ ([]) に入れて記録する。角がっこ ([]) は、データ要素をまたがった形にはしない。

- PUB: [出版地不明] : [出版者不明] , [1976]–[1988]
- × PUB: [出版地不明 : 出版者不明 , 1976–1988]

6.2.4F [データ記入及び記入例]

F1 (データ記入の原則)

出版地は、規定の情報源において、出版者（もしくは頒布者）名と関連して表示されている地名（市，町，村）を記録する。

出版者は、記述対象資料の出版，頒布，発行などについて責任がある団体もしくは個人の名称，またはそれが識別できる表示を記録する。出版者の表示がないときは，頒布者を記録する。

出版年は，その逐次刊行物が完結している場合は，初号と終号の出版年をハイフン (–) で結んで記録する。刊行途中の場合は初号の出版年にハイフン (–) を付して記録する。

F2 (出版地)

F2.1 (出版地の識別)

識別上必要があるときは，市町村名などに国名，州名，都道府県名などを付記または補記する。(→ NCR87R3 13.4.1.2A)

- PUB:一宮町 (愛知県)
- PUB:一宮町 (石川県)
- PUB:大和町 (山口県)
- PUB:大和町 (新潟県)

F2.2 (出版地が表示されていない場合)

出版地などが表示されていない場合については、調査もしくは推定による出版地を、角がっこ ([]) に入れて記録するか、代替情報として頒布地を記録する。推定でも頒布地でも記録できないときは、「[出版地不明]」と補記して記録する。(→ NCR87R3 13.4.1.2B)

PUB:[つくば] (参考情報源などで推定される出版地)

PUB:[北海道] (都市名が推定できない場合は、国・州・県・地方名などを記載)

PUB:[出版地不明] (推定もできない場合)

F2.3 (出版地の変更)

刊行途中で出版地などに変更があった場合や、その名称が変更になった場合は、その名称と変更時点の巻次・年月次を NOTE フィールドに記録する。(→ 6.2.7F3.13)

F3 (出版者, 頒布者など)

出版者などは、記述対象資料に表示されている名称を記録する。(→ NCR87R3 13.4.2.2)

ただし、タイトルや責任表示に名称の完全形があるときは短縮形を用いることができる条項は、検索上支障をきたす恐れがあるため採用しない。

また、出版者名に付されている法人組織を示す語などは省略する。

F3.1 (出版者が表示されていない場合)

出版者が表示されていない場合については、頒布者名を記録する。(→ NCR87R3 13.4.2.1A)

出版者も頒布者も表示されていない場合は、「[出版者不明]」と補記して記録する。(→ NCR87R3 13.4.2.2A)

PUB:[東京] : [出版者不明]

F3.2 (出版者の変更)

刊行途中で出版者などに変更があった場合は、その名称と変更時点の巻次・年月次を NOTE フィールドに記録する。(→ 6.2.7F3.13)

F4 (出版年・頒布年)

出版年は、西暦紀年で記録する。(→ NCR87R3 1.4.3.2A)

ただし、必要に応じ他の暦の付記、補記をする条項は採用しない。

通常は、年までのレベルで十分だが、必要に応じて月、日をピリオド (.) で区切って記録してもよい。

F4.1 (出版年が年次表示と一致する場合)

出版年と年月次の表示が全部または一部一致する場合も、これを記録する。

TR:新しい家庭科 We||アタラシイ カテイカ we

VLYR:1 巻 1 号 (1982.3) -10 巻 12 号 (1992.1)

PUB:調布 : ウイ書房 , 1982-1992

F4.2（出版年が不明の場合）

初号あるいは終号を所蔵していない場合は、出版年は記録しない。

PUB:東京：科学新聞社，-1991（初号を未所蔵）

PUB:東京：外務省（初号，終号共に未所蔵）

初号あるいは終号を所蔵しているが、出版年の表示がなく不明の場合は、頒布年，著作権表示年，製作年を記録する。（→ NCR87R3 13.4.3.1A）

PUB:浦和：国際交流基金日本語国際センター，c1994-

出版年，頒布年，著作権表示年，及び製作年のいずれも表示がないか，不明のときは，推定出版年を補記して記録する。（→ NCR87R3 1.4.3.2D）

PUB:東京：文部省，[1951]-[1983]

PUB:東京：美術館連絡協議会，[19—]-1991

6.2.4G [フィールドの繰り返し]

G1.1（複数の出版地，出版者）

出版地，出版者などが複数表示されている場合，顕著なもの，最初のを記録する。

2番目以降の出版地，出版者などの入力レベルは「選択」である。NCR87R3 13.4.2.1Bは採用しない。

出版地のみ，もしくは出版者のみが複数ある場合は，フィールドの繰り返しではなく，記述文法に従って，区切り記号で一つのフィールド内に記録する。（→ G1.1.1，G1.1.2）

出版地・頒布地と出版者・頒布者などの組合せが複数ある場合は，PUBフィールドを繰り返す。この場合，2番目の繰り返しの部分の検索キーが正しく作成されないので，必ず別フィールドに記録する。（→ G1.1.3，G1.1.4）

複数のPUBフィールドを作成した場合，出版年は最後の出版者に続けて記録する。

G1.1.1（同一出版者の複数の出版地）

同一の出版者，頒布者に対して2箇所以上の地名が表示されている場合は，顕著なもの，最初のもの順で一つを選択して記録する。

または，2番目以降の出版地もスペース，セミコロン，スペース（△;△）に続けて記録することができる。

G1.1.2（同一出版地の複数の出版者）

同一の出版地，頒布地に対して2以上の出版者が表示されている場合は，顕著なもの，最初のもの順で一つを選択して記録する。

または，2番目以降の出版者もスペース，コロン，スペース（△:△）に続けて記録することができる。

PUB:東京：国立大学図書館協議会東京地区協議会：東京地区国立大学図書館ネットワーク研究会

G1.1.3（複数の出版地，出版者の対がある場合）

出版地・頒布地と出版者・頒布者などが組み合わせて複数表示されている場合，記録するときはPUBフィールドを繰り返して記録し，一つのフィールドにまとめたかたちでの記録はしない。

G1.1.4 (出版地, 出版者と頒布地, 頒布者)

出版地, 出版者のほかに頒布地, 頒布者が表示されている場合, 記録するときにはフィールドを繰り返し, 頒布者の後に (発売) など, 役割を示す語句を丸がっこ (()) に入れて付記する。(→ NCR87R3 13.4.2.1C 任意規定)

PUB: 京都 : ミネルヴァ書房 (発売) , 1990-

6.2.4H (選択事項)**H1 (製作などに関する事項)**

出版項目が不明の場合は, [出版地不明] : [出版者不明] と補記し, 新たに別のフィールドに全体を丸がっこに入れて製作などに関する事項を記録する。

複数の PUB フィールドを作成した場合, 出版年は最後の出版者に続けて記録する。

PUB: [出版地不明] : [出版者不明]

PUB: (東京 : 雄松堂フィルム出版 (製作) , 1964-)

PUB: [出版地不明] : [出版者不明]

PUB: ([東京] : 慶応義塾経済学会 (製作))

6.2.4I 《注意事項》**11 (出版地, 出版者などの変更)**

刊行中での出版地, 出版者などの追加, 変更については, その名称と変更時点の巻次・年月次を NOTE フィールドに記録する。(→ 6.2.7F3.13)

このような出版事項の変更は, 別書誌レコード作成の根拠とならない。(→ 0.4.3B5)

12 (並行して出版している出版者)

並行して別の出版者から刊行された資料に関する事項を記録してはならない。このような場合は別書誌を作成する。(→ 0.4.3B5)

(裏白)

6.2.5 PHYS

6.2.5A [形式]

PHYS	入力レベル	属性	フィールド長	繰り返し数
形態に関する事項	選択	可変長	254 バイト	1
数量	選択			無
その他の形態的細目	選択			無
大きさ	選択			無
付属資料	選択			無

6.2.5B [記述文法]



6.2.5C [NCR87R3 の区切り記号の採否]

NCR87R3 13.5.0.2 の採否は、次の通りとする。

- (1) ア) は不採用とする。
- (2) イ) は採用する。
- (3) ウ) は採用する。
- (4) エ) は採用する。
- (5) オ) は採用する。

6.2.5D [フィールド内容とデータ要素]

PHYS フィールドには、目録対象資料の数量、その他の形態的細目、大きさ、及び付属資料などの情報をデータ要素として記録する。

6.2.5E [データ要素の情報源]

PHYS フィールドのデータ要素の情報源は、当該出版物全体とする。(→ NCR87R3 13.0.3.2)

6.2.5F [データ記入及び記入例]

F1 (データ記入の原則)

各資料種別ごとに形態的表示は異なる。目録規則の当該箇所を参照して記録する。(→ NCR87R3 13.5.1.1)

F2 (特定資料種別表示と資料の数量)

F2.1 (刊行中の逐次刊行物)

刊行中のものは数量を記録せず、特定資料種別のみを記録する。印刷資料の場合は、特定資料種別の名称は記録せず、単位名称として「冊」を記録する。(→ NCR87R3 13.5.1.2A)

PHYS:冊 ; 23cm

PHYS:冊 ; 17-19cm

F2.2 (完結した逐次刊行物)

完結した逐次刊行物については、特定資料種別と数量をアラビア数字で記録し、それに続けて、単位名称を記録する。印刷資料の場合は、特定資料種別の名称は記録せず、数量と「冊」のみを記録する。

修正しようとする図書館が刊行された全巻(号など)を所蔵していない場合でも、VLYRフィールドに初号・終号の記録があり、途中の巻号の状況に巻の後戻りや飛躍がないことが、記録の他の部分(登録された所蔵データなど)から、十分推測される際は、数量を記録することができる。(NACSIS 独自規定)

VLYR: 1集(1959)-5集(1963)

PHYS: 5冊 ; 21cm

PHYS: マイクロフィルムリール8巻 ; 10cm , 35mm

F3 (その他の形態的細目)

その他の形態的細目は、印刷資料の場合は、記録しない。印刷資料でない場合は、必要ならばこれをNOTEフィールドに記録する。(→ 6.2.7F3.14, NCR87R3 13.5.2)

F4 (大きさ)

F4.1 (原則)

逐次刊行物の大きさは、資料の外側の寸法をセンチメートルの単位で、端数を切り上げて記録する。(→ NCR87R3 13.5.3.2)

2点以上の部分からなる、大きさの異なる資料は、最小のものと最大のものをハイフンで結んで記録する。ただし、大部分が同じ大きさで一部分のみが異なるときは、大部分の大きさを記録し、一部分の大きさを丸がっこ(())に入れ付記して記録する。(→ NCR87R3 13.5.3.3)

PHYS: 冊 ; 22cm

PHYS: 20冊 ; 26x37cm

PHYS: 100冊 ; 20-32cm

PHYS: マイクロフィルムリール2巻 ; 35mm

F5 (付属資料)

F5.1 (原則)

定期的刊行を意図し、かつ逐次刊行物本体と組み合わせて使用することを意図したすべての資料(本体+カセット、本体+CD-ROM、本体+マイクロフィルム、本体+Directory、本体+解答集など)は、NCR87R3 13.5.4.1, NCR87R3 13.5.4.2の指示のように記録する。必要に応じて付属資料自体の形態に関する事項を付記してもよい。

PHYS: 5冊 ; 27cm + CD-ROM

PHYS: 7冊 ; 22cm + 別冊 (21p ; 22cm)

PHYS: 冊 ; 28cm + 録音カセット

(裏白)

6.2.6 VT

6.2.6A [形式]

VT	入力レベル	属性	フィールド長	繰り返し数
その他のタイトル	選択	可変長		16
タイトルの種類	必須1	固定長	2 バイト	無
タイトル	必須1	可変長	1024 バイト	無
タイトルのヨミ	必須2	可変長	1024 バイト	無

6.2.6B [記述文法]



6.2.6D [フィールド内容とデータ要素]

D1 (フィールド内容)

VT フィールドには、TR フィールドに記録するタイトル以外の「その他のタイトル」を記録する。VT フィールドは、目録対象資料の「その他のタイトル」による検索などを可能にするために設けられたフィールドである。

「その他のタイトル」に該当するのは、次のタイトルである。

- (1) キータイトル及び略タイトル
- (2) 目録対象資料中表示されている標目のうち、TR フィールドに記録されない形
- (3) 目録担当者が作成するタイトル標目

D2 (データ要素)

VT フィールドのデータ要素は、タイトルの種類、タイトル、及びタイトルのヨミである。

- (1) タイトルの種類には、タイトルの情報源、タイトル標目の種類などを示す2桁のコードを記録する。
- (2) タイトルには、当該タイトルを記録する。
- (3) タイトルのヨミには、当該タイトルのヨミを記録する。

タイトルの種類には、以下のものがある。(→ 付録 1.4)

(D1 の種別におけるコードのアルファベット順)

- (1) キータイトル及び略タイトル
 - AB:略タイトル (abbreviated title)
 - KT:キータイトル (key title)

(2) 目録対象資料中に表示されている標目のうち、TR フィールドに記録されない形

AT:副標題紙タイトル (added title page title)

BC:裏表紙タイトル (back cover title)

CL:奥付タイトル (colophon title)

CP:見出しタイトル (caption title)

CV:表紙タイトル (cover title)

DT:識別タイトル (distinctive title)

MT:題字欄タイトル (masthead title)

OH:その他のタイトル (other title)

OR:原タイトル (original title)

PT:親書誌タイトル (parent title)

RT:欄外タイトル (running title)

ST:背表紙タイトル (spine title)

TT:標題紙タイトル (title page title)

(3) 目録担当者が作成するタイトル標目

RM:ローマ字翻字タイトル (romanized title)

TL:翻訳タイトル (translation of title by cataloging agency)

VT:異なりアクセスタイトル (variant access title)

6.2.6E [データ要素の情報源]

VT フィールドのデータ要素の情報源は、当該出版物を含むあらゆるところから採用できる (→ NCR87R3 13.0.3.2)

6.2.6F [データ記入及び記入例]

F1 (データ記入の原則)

F1.1 (初号もしくは所蔵最古号の場合)

「その他のタイトル」が初号もしくは(記述の基準とした)所蔵最古号に表示されている場合、タイトルの表示箇所に関わるタイトルの種類コードと共に VT フィールドに記録する。

TR:愛媛法学会雑誌 / 愛媛大学法学会 [編]||エヒメ ホウガツカイ ザッシ

VT:BC:Ehime law review (裏表紙タイトル)

F1.2 (初号もしくは所蔵最古号以外の場合)

「その他のタイトル」が初号もしくは(記述の基準とした)所蔵最古号以降の号に表示されている場合、タイトルの表示箇所に関わらず、タイトルの種類コード (OH) と共に VT フィールドに記録する。タイトルの表示箇所に関係するコード (AT, BC, CL, CP, CV, MT, RT, ST, TT) は使用しない。

さらに、そのタイトルの表示巻次・年月次・箇所についての説明を NOTE フィールドに記録する (→ 6.2.7F3.10)

TR:コンクリートブロック / 日本コンクリートブロック協会 [編集]||コンクリートブロック

VT:OH:月刊コンクリートブロック||ゲツカン コンクリート ブロック

NOTE:奥付タイトル: 月刊コンクリートブロック (162号 (1997.3) →)

F2 (複製版の場合)

複製版書誌データの本タイトルの情報源は原本であるので、複製時に付与されたタイトルは、タイトルの種類コード (OH) と共に VT フィールドに記録し、同時に NOTE フィールドに記録する。(→ 6.2.7F3.17)

REPRO:c
TR:社会と教化 / 社会教育研究会[編纂]||シャカイ ト キョウカ
ED:復刻版
VT:OH:社会教育||シャカイ キョウイク
NOTE:復刻版のタイトル: 社会教育

F3 (合冊誌・合刻複製版の場合)

合冊誌、合刻複製版に収録されている逐次刊行物の総合タイトルは、タイトルの種類コード (OH) と共に VT フィールドに記録し、同時に NOTE フィールドに記録する。(→ 6.2.7F3.17)

REPRO:c
TR:復興情報||フッコウ ジョウホウ
ED:復刻版
VT:OH:新都市||シントシ
NOTE:合刻複製版の総合タイトル: 新都市

F4 (巻の標題紙、製本用標題紙の場合)

初号の情報源は、その後で付与された巻の標題紙(製本用標題紙)より優先する。この場合、巻の標題紙に記録されたタイトルは、タイトルの種類コード (OH) と共に VT フィールド及び NOTE フィールドに記録する。タイトルの種類コード (CV, ST) は使用しない。(→ 6.2.7F3.10)

TR:形成外科||ケイセイ ゲカ
VT:OH:形成美容外科||ケイセイ ビョウ ゲカ
NOTE:巻の標題紙タイトル: 形成美容外科

F5 (簡略形と展開形)

情報源中にタイトルの簡略形が表示され、それ以外の箇所にもその展開形が表示されている場合、またはその逆の場合、タイトルの表示箇所に関わるタイトルの種類コードと共に VT フィールドに記録する。

TR:北海道大学文学研究科紀要 / 北海道大学文学研究科 [編] ||ホッカイドウ ダイガク ブンガク ケンキュウカ キョウ
VT:RT:北大文学研究科紀要||ホクダイ ブンガク ケンキュウカ キョウ (欄外タイトル)

F6 (共通タイトル)**F6.1 (情報源以外に存在する共通タイトル)**

共通タイトルが情報源以外の箇所に表示されている場合、タイトルの種類コード (PT) と共に VT フィールドに記録する。

F6.2 (不安定な共通タイトル)

共通タイトルが従属タイトルと同じ情報源にあたりなかったり、号によって表現がまちまちだったりなど不安定な場合、タイトルの種類コード (PT) と共に VT フィールドに記録する。

TR:くらしのサイエンス / 酪農学園短期大学酪農学校 [編]||クラシ ノ サイエンス
VT:PT:近代酪農. 別冊||キンダイ ラクノウ. ベッサツ (親書誌タイトル)

F7 (本タイトルの変化)**F7.1 (本タイトルに軽微な変化があった場合)**

本タイトルに軽微な変化があった場合、タイトル変遷とはせず、VT フィールドにタイトルの種類コード (OH) を付与して記録し、併せて NOTE フィールドに変化のあった巻次・年月次を記録する。(→6.0.1A1.2, 6.2.7F3.6)

F7.2 (本タイトル中の文字の字体が変更された場合)

本タイトル中の文字の字体が変更された場合、タイトル変遷とはせず、VT フィールドにタイトルの種類コード (OH) を付与して記録し、併せて NOTE フィールドに変更された巻次・年月次を記録する。(→ 6.2.7F3.6)

TR:看護学雑誌 / 医学書院 [編]||カンゴガク ザッシ
VT:OH:看護学雑誌||カンゴガク ザッシ
NOTE:本タイトルの字体変更: 看護学雑誌 (-25 巻 12 号 (1961.12)) →看護学雑誌 (26 巻 1 号 (1962.1) →)

F8 (別言語・別文字タイトル)**F8.1 (本タイトルと意味的に対応し、情報源に表示されている場合)**

別言語・別文字タイトルが複数表示されている場合、TR フィールドに記録しなかった並列タイトルは、タイトルの表示箇所に関わるタイトルの種類コードと共に VT フィールドに記録することができる。

F8.2 (本タイトルと意味的に対応しているが、情報源以外の箇所に表示されている場合)

情報源以外の箇所に表示されている別言語・別文字タイトルは、並列タイトルではなく「その他のタイトル」と見なし、表示箇所に応じたタイトルの種類コードを付与し、VT フィールドに記録する。

F8.3 (本タイトルと意味的に対応していない場合)

本タイトルと意味的に対応していない別言語・別文字タイトルは、TR フィールドのタイトル関連情報として扱う (→ 6.2.1F4)

F9 (その他のタイトルに関わる責任表示)

「その他のタイトル」に関わる責任表示 (責任表示の異形) は、このフィールドには記録しない。記録が必要な場合には、NOTE フィールドに記録するか、当該著者名典拠レコードの SF フィールドに記録する。(→ 6.2.7F3.11)

F10 (複数のタイトルの種類コードに該当する場合)

同一の形のタイトルが、複数のタイトルの種類コードに該当する場合、以下の優先順位を適用する。

F10.1 (該当する場合最優先で必ず記録するもの)

この中で重複する場合は、VT フィールドを追加して全て記録する。

AB (略タイトル), KT (キータイトル), DT (識別タイトル), OR (原タイトル), PT (親書誌タイトル)

F10.2 (該当する場合選択して記録するもの)

この中で重複する場合は、以下の優先順位で選択して記録する。優先順位が低く、VT フィールドに記録しなかったものは、NOTE フィールドに記録してもよい。

BC (裏表紙タイトル) > TT (標題紙タイトル) > MT (題字欄タイトル) > ST (背表紙タイトル) >
CL (奥付タイトル) > AT (副標題紙タイトル) > CP (見出しタイトル) > RT (欄外タイトル)

F10.3 (以上のどれにも該当しないもの)

上記のものと重複しない場合、該当するものを選択して記録する。

OH (その他のタイトル), TL (翻訳タイトル), RM (ローマ字翻字タイトル),
VT (異なりアクセスタイトル)

F11 (ヨミの記録)

ヨミの記録については、「目録情報の基準」11.3 (ヨミの表記及び分かち書き規則) 及び TR フィールドの「タイトルのヨミ、タイトル関連情報のヨミ」の記録法による。(→ 6.2.1F6)

6.2.6G [フィールドの繰り返し]

「その他のタイトル」が複数ある場合は、VT フィールドをその数だけ繰り返し、それぞれのタイトルを記録する。

6.2.6H 《注意事項》**H1 (「その他のタイトル」が複数ある場合)**

1つのVT フィールドに複数の「その他のタイトル」を記録してはならない。

H2 (記述文法)

タイトルの種類とタイトル間のコロン(:)の前後にスペースを記録してはならない。

H3 (表紙タイトル)

和雑誌では、表紙がTR フィールドに記録するデータの情報源として最も優先順位が高いので、表紙タイトル (cover title) 種類コード (CV) は、原則として使用することはない。表紙に表示されている複数の並列タイトルのうち、TR フィールドに記録しなかった並列タイトルに限って使用する場合がある。

H4 (統一タイトル)

統一タイトル (uniform title) の種類コード (UT) は、雑誌書誌レコードでは使用しない。

(裏白)

6.2.7 NOTE

6.2.7A [形式]

NOTE	入力レベル	属性	フィールド長	繰り返し数
注記	選択	可変長	1024	16

6.2.7B [記述文法]



6.2.7C [NCR87R3 の区切り記号の採否]

NCR87R3 13.7.0.2 の採否は、次の通りとする。

1つの注記ごとにフィールドを繰り返して記録するのを基本とするため、区切り記号法は用いない。

ただし、1つのNOTEフィールド中に複数の注記を記録する必要がある場合は、セミコロン、スペース (;△) を区切り記号とする。

6.2.7D [フィールド内容とデータ要素]

NOTEフィールドには、目録対象資料に関する注記をデータ要素として記録する。記録されるデータ要素には次のものがある。

- (1) 他のどのフィールドにも記録できないが、記録しておくことが望ましいと目録作成機関が判断した事項
- (2) 他のフィールドに記録した事項で、更に補足・説明を加えることが望ましいと目録作成機関が判断した事項

ただし、ID&コードブロックに記録したデータ及びVTフィールドにOH以外のタイトルの種類コードを付して記録したデータを、このフィールドで重ねて説明する必要はない。

また、ある特定の機関のみが所蔵している資料に固有の事項については、このフィールドに記録してはならない。必要に応じて、所蔵レコードのCPYNTフィールドやLDFフィールドに記録する。

6.2.7E [データ要素の情報源]

NOTEフィールドのデータ要素の情報源は、当該出版物を含むあらゆるところから採用できる。(→ NCR87R3 13.0.3.2)

6.2.7F [データ記入及び記入例]

F1 (データ記入の原則)

F1.1 (定型注記)

NOTEフィールドに記録する注記には、導入語句を伴う定型注記と、それ以外の非定型注記とがある。定型注記の場合は、導入語句と注記の間には、コロン、スペース (:△) を置く。

TR:神学ダイジェスト / 上智大学神学部神学ダイジェスト研究会 [編] || シンガク ダイジェスト
 NOTE:別冊: 「総索引」1号-70号

F1.2 (注記の順序)

複数の注記を記録する場合は、記録の順序については問わないこととするが、共同分担目録の特性上、できれば「記述の基準とした巻号についての注記」を最初に記録することが望ましい。(NACSIS 独自規定)

F2 (本システム特有の取り扱いをするもの)

NCR87R3 の 13.7 で示されているもののうち、次のものについては NCR87R3 とは別の取り扱いをする。

F2.1 (「その他のタイトル」として記録すべきもの)

次に示す項目について、検索上有益なものは、VT フィールドに適切なコードを付して記録する。

- (1) NCR87R3 13.7.3.1 イ (別の形のタイトル)
- (2) NCR87R3 13.7.3.1 ウ (外国語のタイトル)

なお、タイトルの種類コード (0H) を付して記録した場合は必ず「その他のタイトル」のタイトルとその性格、表示巻次・年月次、表示箇所について記録する。

NOTE:裏表紙タイトル: Studies in philosophical anthropology (No.22 (1992) -)

NOTE:背表紙タイトル: 建設月報 (43 巻 1 号 (1990.1) -)

F2.2 (タイトル変遷についての注記)

タイトル変遷による注記は、各参加組織からの「変遷注記用データシート」による報告に基づき、国立情報学研究所 (NII) のみが BHNT フィールドに記録できる。

ただし、国立情報学研究所 (NII) によって BHNT フィールドが記録されるまでの間、補助的に NOTE フィールドにタイトル変遷による注記を記録することができる。

NOTE:継続前誌: ドクメンテーション研究

NOTE:派生後誌: 中央大学工学部研究報告. C, 電気

F3 (注記の種類)

主として以下の項目について記録する。

F3.1 (記述の基準とした巻号についての注記)

初号以外の号に基づいて書誌を記述した場合、その巻号の巻次・年月次について記録する。(→ NCR87R3 13.0.3.0, NCR87R3 13.0.3.1)

NOTE:記述は 4 巻 1 号 (昭 58.1) による

F3.2 (仮登録雑誌についての注記)

新規の予約雑誌で、資料現物が届いていないため、販売カタログなどに基づいて書誌を記述した場合、その書誌レコードが仮登録雑誌 (予約雑誌) であることを記録する。(→ 6.0D4)

NOTE:仮登録雑誌

F3.3 (刊行頻度についての注記)

刊行頻度に変更があった場合、各刊行頻度が保持されていた期間について変更があった巻次・年月次と共に記録する。

NOTE:刊行頻度の変更: 月刊, 379号 (1979.11) - 562号 (1995.3) → 隔月刊, 563号 (1995.5)

—

刊行頻度の定期性が「規則的不定期」であるものの場合、実際の刊行形態について記録する。

NOTE:月刊 (8-9月は刊行せず)

F3.4 (言語についての注記)

言語コードで記録したフィールドのデータに更に補足を加えることが望ましい場合、記録する。(→ NCR87R3 13.7.3.0 イ)

NOTE:本文は英文併記

NOTE:本文は日本語または英語; 抄録は英語

F3.5 (本タイトルの情報源箇所についての注記)

目録対象資料に表紙がない、または表紙に本タイトルがないため、その他の情報源箇所から本タイトルを採った場合は、その情報源箇所について記録する。(NACSIS 独自規定)

NOTE:タイトルは標題紙による

NOTE:タイトルは背と奥付による

F3.6 (本タイトルの軽微な変化についての注記)

(1) 本タイトルに軽微な変化があった場合、変化があった巻次・年月次とともに記録する。

NOTE:本タイトルの軽微な変化: 少女倶楽部 (-24巻3号 (昭21.3)) → 少女クラブ (24巻4号 (昭21.4) -)

(2) 刊行途中で本タイトル中の文字の字体が変更になった場合、変更があった巻次・年月次と共に記録する。

NOTE:本タイトルの字体変更: 日本國勢圖會 (-昭和25年版 (昭25)) → 日本國勢図会 (昭和27年版 (昭27) -)

F3.7 (並列タイトルについての注記)

(1) 初号または記述の基準とした号以降に現れた並列タイトルについて、対応する巻次・年月次と共に記録する。

NOTE:並列タイトル (5巻1号 (1988) -) : Bone metastasis and related disease

(2) 刊行途中での並列タイトルの変更について、変更があった巻次・年月次と共に記録する。

NOTE:並列タイトル変更: The Eastern Japan journal of clinical orthopaedics (2巻1号 (1990.3) -)

F3.8 (タイトル関連情報についての注記)

- (1) 初号または記述の基準とした号以降に現れたタイトル関連情報について、対応する巻次・年月次と共に記録する。

NOTE:タイトル関連情報: リウマチの外科研究会誌 (22巻1号 (1995.6) -)

NOTE:タイトル関連情報: 隔月刊くみあい (No.26 (1990.6) -)

- (2) 刊行途中でのタイトル関連情報の変更について、変更があった巻次・年月次と共に記録する。

NOTE:タイトル関連情報の変更: 糖尿病医療スタッフのプラクティス (6巻3号 (1989) -)

F3.9 (目録対象資料中表示されていない翻訳の原本についての注記)

当該逐次刊行物が以前に出版された逐次刊行物の翻訳である場合、目録対象資料以外の情報源から得られた原本のタイトルについて記録する。(→ NCR87R3 13.7.3.1ク)

NOTE:原タイトル: Economic and social survey of Asia and Pacific

F3.10 (「その他のタイトル」についての注記)

- (1) 複数の箇所に表示されている、同一の形の「その他のタイトル」について、VTフィールドに記録しなかった表示箇所を記録する。

NOTE:標題紙・奥付のタイトル: 東京電機大学理工学部紀要

- (2) 識別タイトルが多数ある場合、その旨記録する。

NOTE:各号に個別のタイトルあり

F3.11 (責任表示についての注記)

- (1) 初号または記述の基準とした号以降に現れた責任表示について、対応する巻次・年月次と共に記録する。

NOTE:責任表示追加: 宮城県産地魚市場協会 (昭和53年-)

- (2) 刊行途中での責任表示の変更について、変更があった巻次・年月次と共に記録する。(→ NCR87R3 13.7.3.1Aエ)

NOTE:責任表示の変更: 東洋大学経済学会 (-26号 (1961.6)) → 東洋大学経済研究所 (27号 (1962.6) -)

- (3) 「その他のタイトル」に関わる責任表示など、責任表示の異形について記録する。(→ NCR87R3 13.7.3.1Aイ)

- (4) 当該書誌の識別のために重要と考えられる個人編者について記録する。(→ NCR87R3 13.7.3.1Aア)

NOTE:個人編者: 内村鑑三

NOTE:主筆: 宮武外骨

F3.12 (巻次・年月次についての注記)

- (1) VLYR フィールドに記録しなかった別形式の巻次・年月次や、巻次・年月次として明記しなかった表示について記録する。(→ NCR87R3 13.7.3.3)

NOTE:通号表示併記: 34 巻 1 号は通号 125 号にあたる

- (2) 変則的または特異な番号付け、誤植による重複、欠番について記録する。

NOTE:誤植: 35 巻 4 号の表紙に 35 巻 3 号と誤植

NOTE:欠番: 333 号

- (3) 休刊の事実について記録する。(→ NCR87R3 13.7.3.4A)

NOTE:休刊: 1993.4-1995.9

F3.13 (出版地・出版者についての注記)

- (1) 初号または記述の基準とした号以降に現れた出版地・出版者について、対応する巻次・年月次と共に記録する。

NOTE:出版者追加: 日本関税協会 (No.132 (昭62.4) -)

- (2) 刊行途中での出版地・出版者の変更について、変更があった巻次・年月次と共に記録する。(→ NCR87R3 13.7.3.4)

NOTE:出版地変更: 小金井 (-2 号 (平6.12)) → 東京 (3 号 (平7.4) -)

NOTE:出版者変更: JICC 出版局 (-2 巻 4 号 (1993.4)) → 宝島社 (2 巻 5 号 (1993.5) -)

- (3) その他、当該逐次刊行物の出版に関する特徴的または変則的な事柄について記録する。

NOTE:出版地は開催のたびに変更

F3.14 (形態に関する事項についての注記)

PHYS フィールドに記録しなかった、必要な形態的細目を記録する。(→ NCR87R3 13.7.3.5 ア)

NOTE:VHS, カラー

NOTE:PC9801 シリーズ用

NOTE:MS-Windows98 対応

F3.15 (付属資料についての注記)

PHYS フィールドに記録しなかった、重要と思われる付属資料の存在とその詳細、及び PHYS フィールドに記録した付属資料の刊行頻度について記録する。(→ NCR87R3 13.7.3.5 イ)

NOTE:付属資料: 神戸市背山路図 (図 1 枚)

NOTE:付属資料: 地図 (昭和 43 年より)

F3.16 (独自の巻号付けを持たない索引・付録・補遺資料についての注記)

本体とは別の独自の巻号付けを持たない索引・付録・補遺資料(別冊, 増刊など)について記録する。索引については, できれば索引の種類, 索引対象の巻次・年月次を記録する。索引が別個に出版されている場合は, 索引の所在またはその巻号数を記録する。

NOTE:別冊あり

NOTE:各巻12号の後, 増刊大会特集号あり

NOTE:総索引: 47巻(1978)–51巻(1982), 1冊, 1983年刊

NOTE:総目次: 411号は「調査情報総目次」, 1958年8月上旬号–1993年5月号

F3.17 (複製版についての注記)

(1) 複製時に付与されたタイトルについて記録する。合刻複製版の総合タイトルについても記録する。

NOTE:復刻のタイトル: 同胞

NOTE:合刻複製版の総合タイトル: 新都市

(2) 合刻複製版については, 共に合刻されている逐次刊行物のタイトルについて記録する。

NOTE:「海の銃後」「海の勇士慰問文集」の各復刻版と合冊

(3) 原本の版表示, 出版事項, 刊行頻度, ISSNなどの書誌的事項について記録する。(→NCR87R3 13.7.3.2C)

NOTE:原本の出版事項: 京都: 京都商業會議所, 1903–1919

(4) 原本の変遷関係について記録する。

NOTE:原本の継続前誌: 新小説

NOTE:原本のタイトル変遷: 史學會雜誌(1号(大2.1)–36号(大5.12))→史學雜誌(37号(大6.1)–)

F3.18 (合冊誌についての注記)

共に合冊されている逐次刊行物のタイトルについて記録する。

NOTE:「日本眼科紀要」と合冊刊行

F3.19 (参照ファイルから流用入力したデータについての注記)

参照ファイルのレコード中には記録されているが, 資料現物では確認できなかったデータを記録する。

NOTE:JP/MARCによる巻次・年月次: 1号(昭59.10)–

F3.20 (版表示の表現上の変化についての注記)

版表示に表現上の変化があった場合, 変化があった巻次・年月次とともに記録する。(→6.0.1A5, 6.2.2H1,

NOTE:版表示の表現上の変化: 中日文版(–26巻8期(2001.8))→中国語・日本語版(26巻9号(2001.9)–)

6.2.7G [フィールドの繰り返し]

本マニュアル及び NCR87R3 に定める注記（の種類）ごとに NOTE フィールドを繰り返して記録する。

ただし、フィールドの繰り返し制限を越えてしまう場合は、同種の注記をグループ化し、一つの NOTE フィールドの中に記録するものとする。

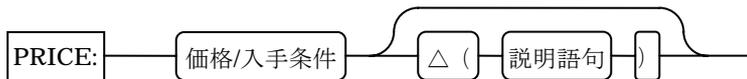
(裏白)

6.2.8 PRICE

6.2.8A [形式]

PRICE	入力レベル	属性	フィールド長	繰り返し数
価格/入手条件	選択	可変長	254 バイト	1
価格/入手条件	選択			無
説明語句	選択			無

6.2.8B [記述文法]



6.2.8C [NCR87R3 の区切り記号の採否]

NCR87R3 13.8.0.2 の採否は、次の通りとする。

- (1) ア) は不採用とする。
- (2) イ) は不採用とする。
- (3) ウ) は不採用とする。
- (4) エ) は不採用とする。
- (5) オ) は採用する。

6.2.8D [フィールド内容とデータ要素]

PRICE フィールドには、価格など、目録対象資料の入手条件、及び説明語句をデータ要素として記録する。

6.2.8E [データ要素の情報源]

PRICE フィールドのデータ要素の情報源は、当該出版物を含むあらゆるところから採用できる。(→ NCR87R3 13.0.3.2)

6.2.8F [データ記入及び記入例]

F1 (価格/入手条件)

F1.1 (売品)

目録対象資料にかかわる価格が売品である場合は、定価を通貨の漢字形または標準的な略語と数字で記録する。記録するのは初号の定価に限定しないので、定価の変更のたびにデータを更新してもよい。

PRICE:1200 円

PRICE:¥580

F1.2 (定価がない売品)

1冊あたりの定価が判明しない場合は、一定期間の購読料があれば入手条件を添えて記録する。

PRICE:年間購読料 6000 円

F1.3 (非売品)

価格がなく、目録対象資料が非売品である場合は、その旨を目録対象資料に表示されているとおりに記録する。

PRICE:非売品

F2 (説明語句)

目録対象資料の定価にかかわる付加的説明語句(特別な入手条件とその条件下での価格など)を記録する。

PRICE:72000 円 (セット)

PRICE:非売品 (会員頒布)